

IDWR

2025年第36週(9月1日~9月7日)

静岡県

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

# 感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に  
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

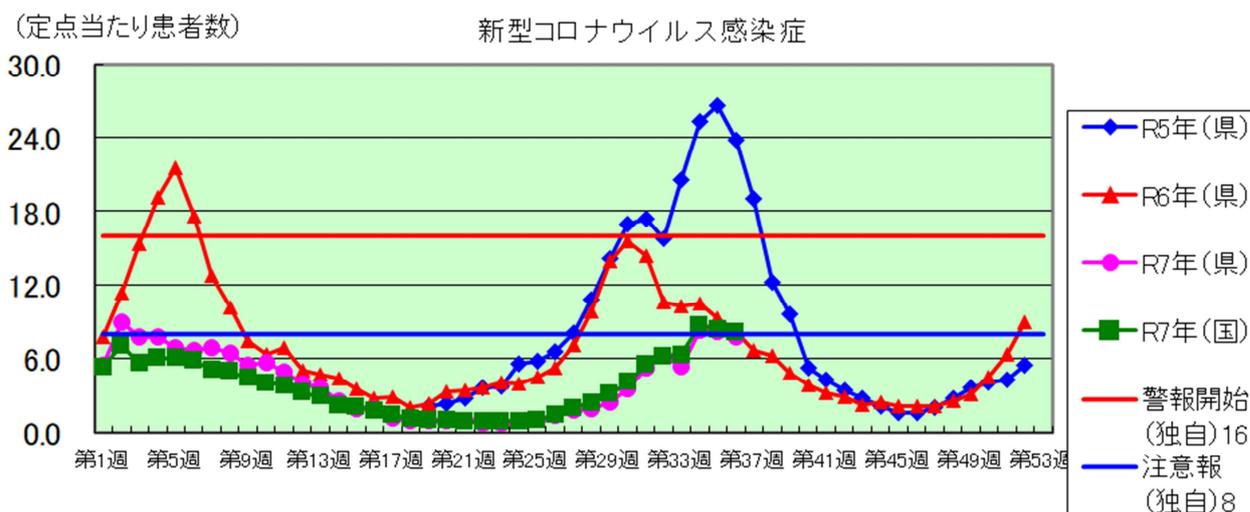
(2025年9月12日公開)

## 新型コロナウイルス感染症感染拡大注意報を解除します(第36週 7.80)

第34週(8月11日～17日)の定点あたり患者数が8.34と注意報基準値の8を超えたため、8/29に感染症拡大注意報を発令しました(昨年は第30週(7月22日～28日)がピークで定点あたり患者数が15.60、注意報は7月19日～9月19日の約9週間続きました)。第36週(9月1日～7日)は、7.80と、基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除します(注意報期間:8月29日～9月11日)。

**感染拡大注意報基準である定点あたり8人をわずかに下回りましたが、下降スピードが遅く(前週比0.96倍)、再度増加し注意報レベルになるおそれもありますので、県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。**

県内の新型コロナウイルスの変異株の状況は、4月頃から新たにNB.1.8.1系統が県内でも検出され、6月にはゲノム解析件数が4件と少ないですが、全てNB.1.8.1系統でした。また、7月には7検体中、6検体がNB.1.8.1系統です。現時点ではNB1.8.1系統によって重症者が増えるという情報はなく、県内のコロナの入院患者数も少ない状況です。



## RSウイルス感染症は再増加しています(第36週 1.96)

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数が、第10週において1.07人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数は、第5週(1月27日～2月2日)に0.64で、0.5を超え、第10週(3月3日～9日)と第11週(3月10日～16日)に1台になり、その後も0.5～0.8付近を推移していましたが、第19週は0.2台に下がりました。その後は0.1台の週が多くなっていましたが、第27週(6月30日～7月6日)以降は0.2台となり、第29週(7月14日～20日)は0.4台に増加し、第33週(8月11日～17日)には再び1を超えました。春の流行が小規模でしたので、今後しばらく発生数が増加し、秋頃まで流行が続く可能性があります。県内の患者の年齢は、80%以上が2歳以下です。

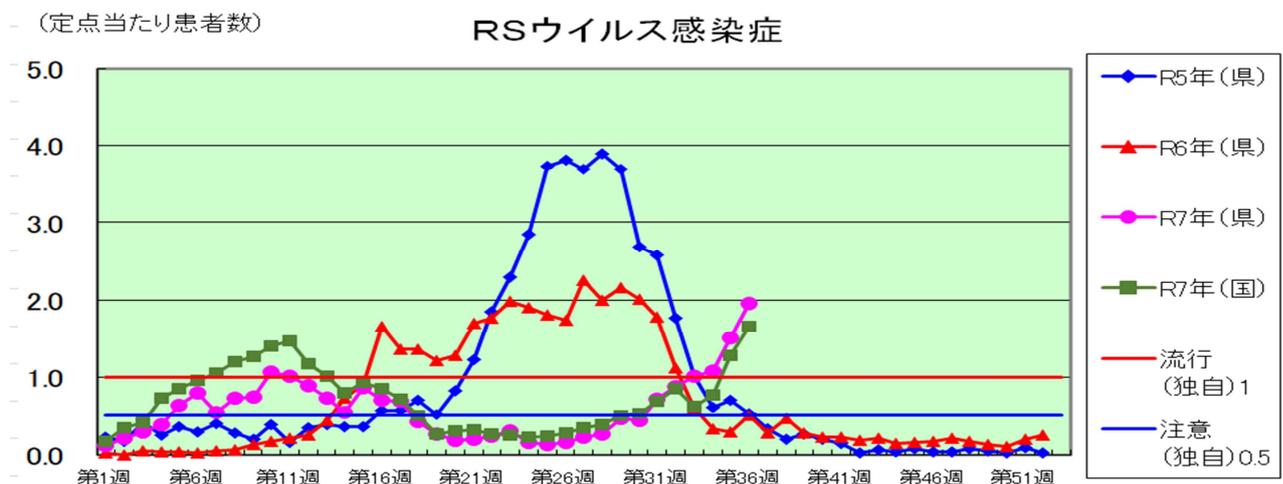
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約5日、人にうつす感染期間は発症後約1週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に2か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約30人に1人は入院するという報告もあります)。

**RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。**

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



## 百日咳が流行しています(第36週 43人)

第6週(2/3～)以降、1週間に1～2人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第14週(3/31～4/6)に5人となり、第15週(4/7～4/13)は21人と急増しました。その後は第20週(5月12日～18日)までは20人前後が続いた後、第21週(5月19日～25日)に40人まで増えてからは毎週増加し、**第28週(7/7～7/14)は84人となり、全数把握感染症となった2018年以降の最高値を更新しました。(それまでの過去最高値は、2025年第26週(6/23～6/29)80人です。)**学校が夏休みに入り、発生数は徐々に減少しましたが、40～70人台が続いており、学校が始まった今後、再度、増加する可能性があります。

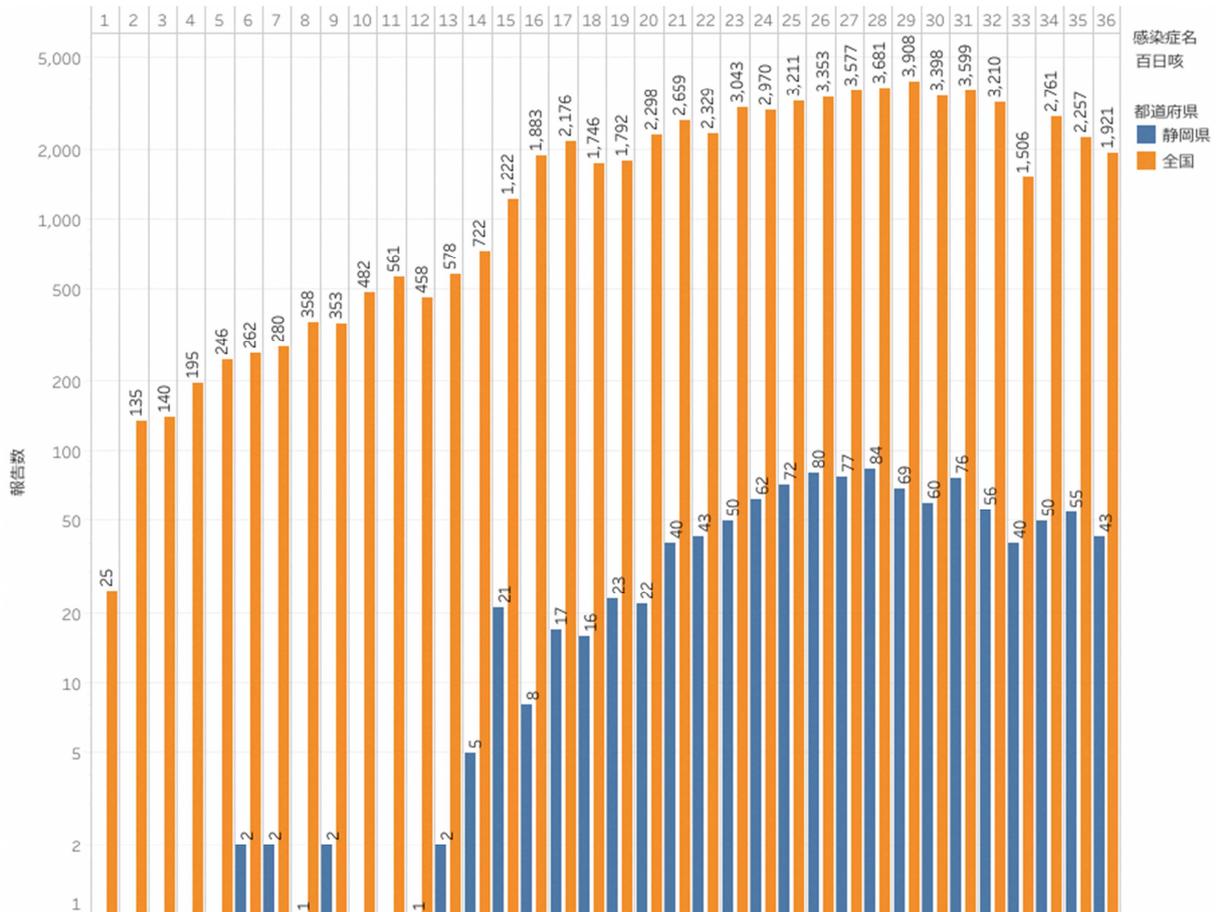
コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

年齢分布では10～14歳が最多で、続いて15～19歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

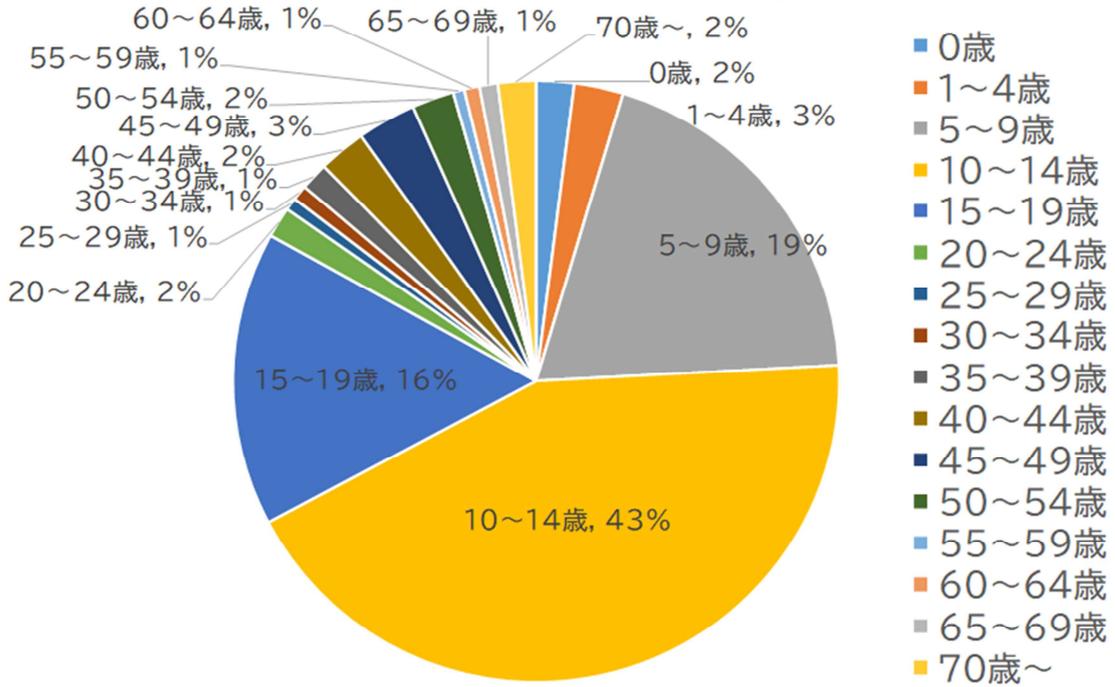
なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/pertussis.html>



年齢分布(2025年 累計1,337人)



## 伝染性紅斑の警報レベルが継続しています(第36週 1.84)

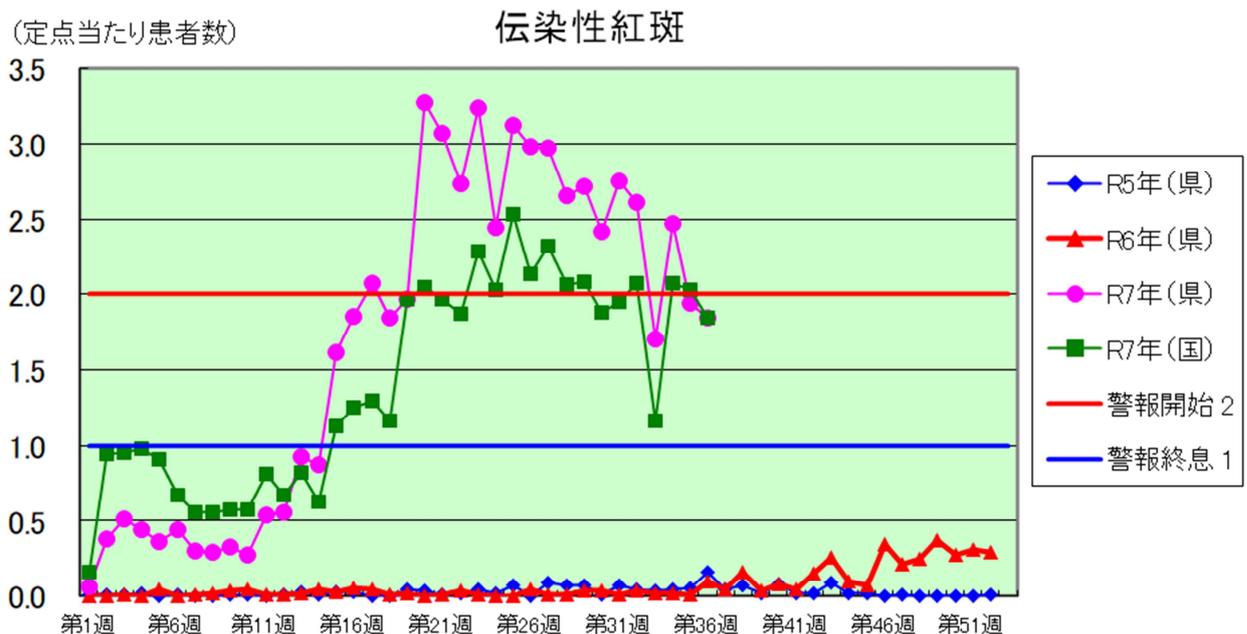
伝染性紅斑が、第3週(1/13～1/19)の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週(4/21～4/27)に警報基準値の2を超えました。(警報レベルは終息基準値の1を下回るまで継続しますので、現時点も警報レベルです。)

警報レベルとなったのは、2011年第25週(6/21～6/27)以来で、その時は第28週(7/12～7/18)まで継続しました。2025年第20週には3.27となり、記録が残る2006年以降の最高値となりました。(これまでの過去最高値は、2011年第25週(6/20～6/26)の2.57です。)

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



## マイコプラズマ肺炎が流行しています(第36週 0.8)

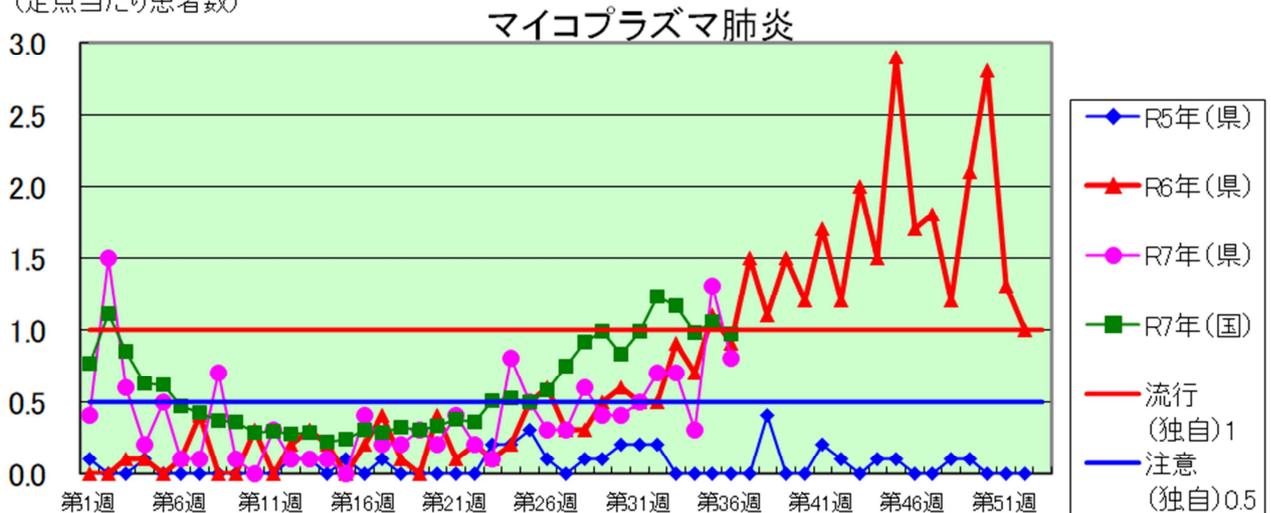
マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起きます。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024年第29週(7/15～7/21)以降、定点当たり患者数※0.5以上が続き、第35週(8/26～9/1)は1.1となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019年第51週(12/16～12/22)以来です。)

今年2025年に入ってから、第2週(1月6日～12日)に1.5まで上昇しましたが、その後は0～0.8(平均0.3)で推移していました。第35週は再度1を超え、1.3となっています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1、2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

(定点当たり患者数)



## ◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数	
2類感染症	結核	東部	1	
		富士	1	
		静岡市	1	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	中部	2	
		中部	2	
		西部	1	
		浜松市	1	
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	東部	1	
		静岡市	1	
		西部	1	
5類感染症	レジオネラ症	西部	1	
		中部	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	熱海	1	
		富士	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	中部	2	
		浜松市	1	
	梅毒	百日咳	賀茂	1
			熱海	1
東部			7	
御殿場			4	
富士			4	
静岡市			1	
中部			9	
西部	4			
浜松市	12			

## 保健所別の警報状況

警報 伝染性紅斑(熱海、東部、御殿場、富士、中部、西部、浜松市)

注意報 新型コロナウイルス感染症(賀茂、浜松市)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

## 警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

**感染症発生動向調査**  
令和7年第36週(9/1～9/7)の動向  
**警報・注意報・流行期入りの目安**

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週間のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

**【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】**

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

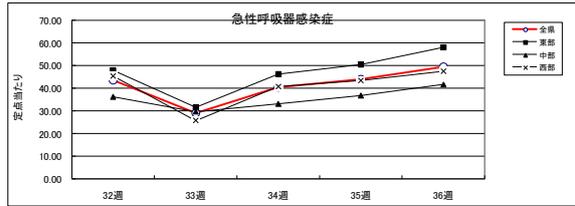
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

**【今週のコメント】**

第36週(9/1～9/7)の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症(ARI)の定点当たり報告数は49.52人となり、前週の43.96人から増加しました。伝染性紅斑の定点当たり報告数は1.84人となり、前週の1.94人から減少し、警報レベルの開始基準値2を2週連続で下回りました。

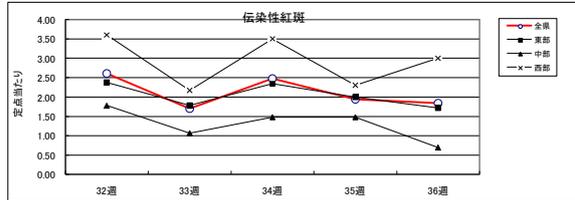
**【急性呼吸器感染症】**

全県で罹患数6,883、定点当たり49.52の患者発生があり、前週の43.96から増加した。定点当たり東部地区で58.04、中部地区で41.67、西部地区で47.47の患者が発生した。



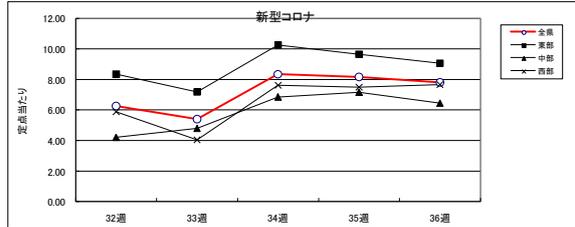
**【伝染性紅斑】**

全県で罹患数164、定点当たり1.84の患者発生があり、前週の1.94から減少した。定点当たり東部地区で1.72、中部地区で0.7、西部地区で3の患者が発生した。西部地区で、警戒レベルの開始基準値2を越えている。



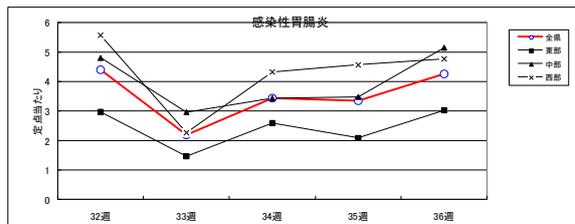
**【新型コロナ】**

全県で罹患数1,084、定点当たり7.8の患者発生があり、前週の8.17から減少した。定点当たり東部地区で9.06、中部地区で6.45、西部地区で7.66の患者が発生した。



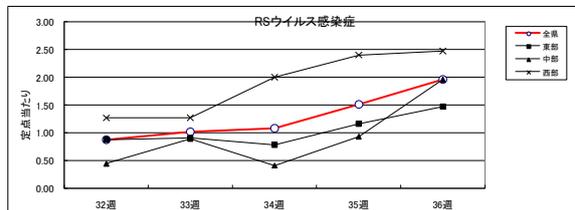
**【感染性胃腸炎】**

全県で罹患数379、定点当たり4.26の患者発生があり、前週の3.35から増加した。定点当たり東部地区で5.03、中部地区で5.15、西部地区で4.77の患者が発生した。



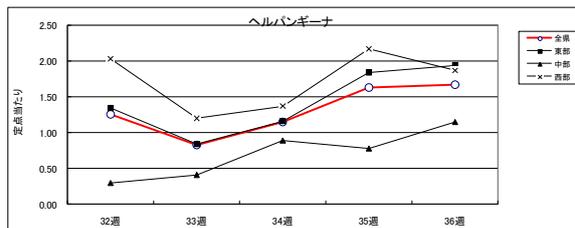
**【RSウイルス感染症】**

全県で罹患数174、定点当たり1.96の患者発生があり、前週の1.51から増加した。定点当たり東部地区で1.47、中部地区で1.96、西部地区で2.47の患者が発生した。



**【ヘルパンギーナ】**

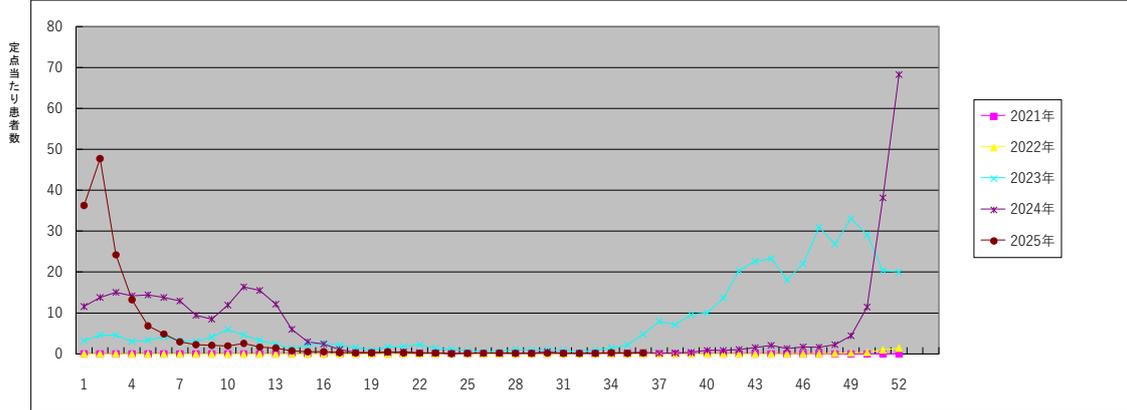
全県で罹患数149、定点当たり1.67の患者発生があり、前週の1.63から若干増加した。定点当たり東部地区で1.94、中部地区で1.15、西部地区で1.87の患者が発生した。



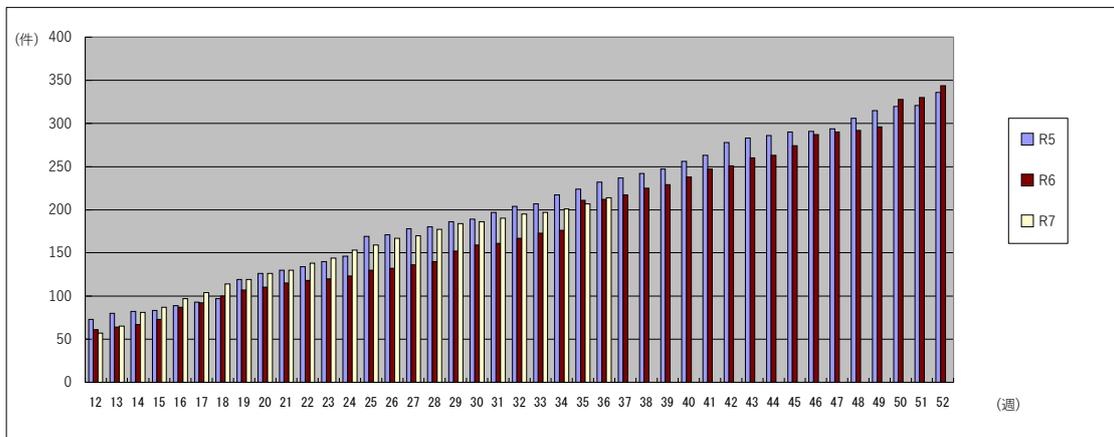
**【その他】**

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は0.5で前週の0.35から増加した。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は8.12で前週の8.37から減少した。
- ・静岡県において第36週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(49.52)、2)新型コロナ(7.8)、3)感染性胃腸炎(4.26)、4)RSウイルス感染症(1.96)、5)伝染性紅斑(1.84)、6)ヘルパンギーナ(1.67)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】  
・第36週は前年同期比1.01倍であった。



## 急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

### 症例定義

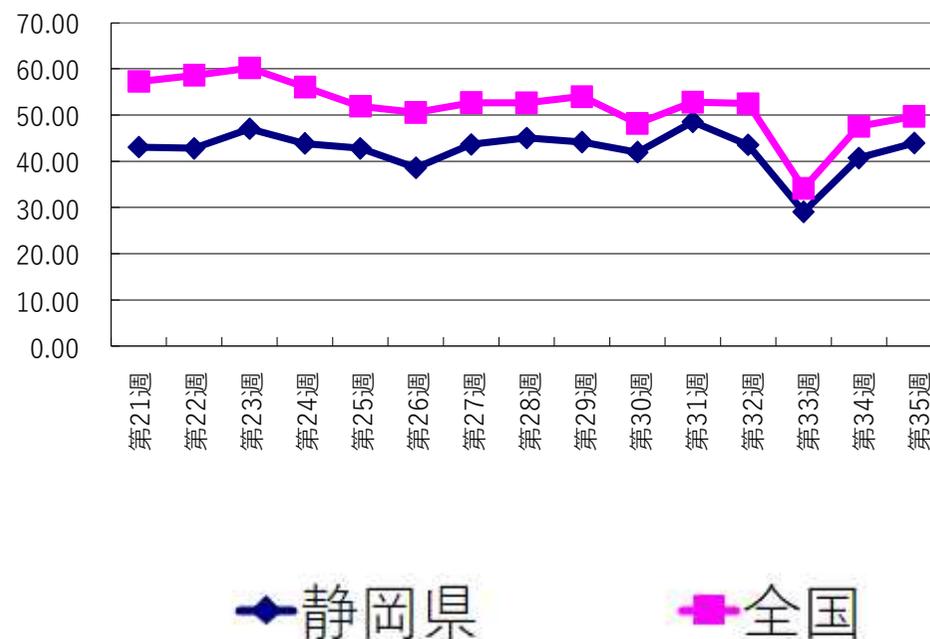
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

# 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	6,883	49.52
賀茂	115	38.33
熱海	148	24.67
東部	1,134	56.70
御殿場	663	110.50
富士	842	56.13
静岡市	991	39.64
中部	759	44.65
西部	1,041	54.79
浜松市	1,190	42.50

(全国 53.92)

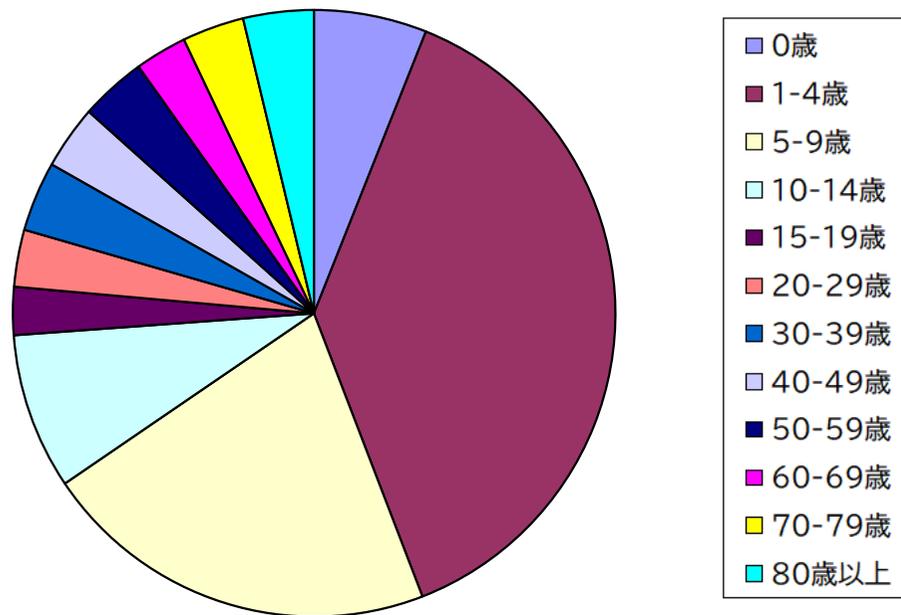
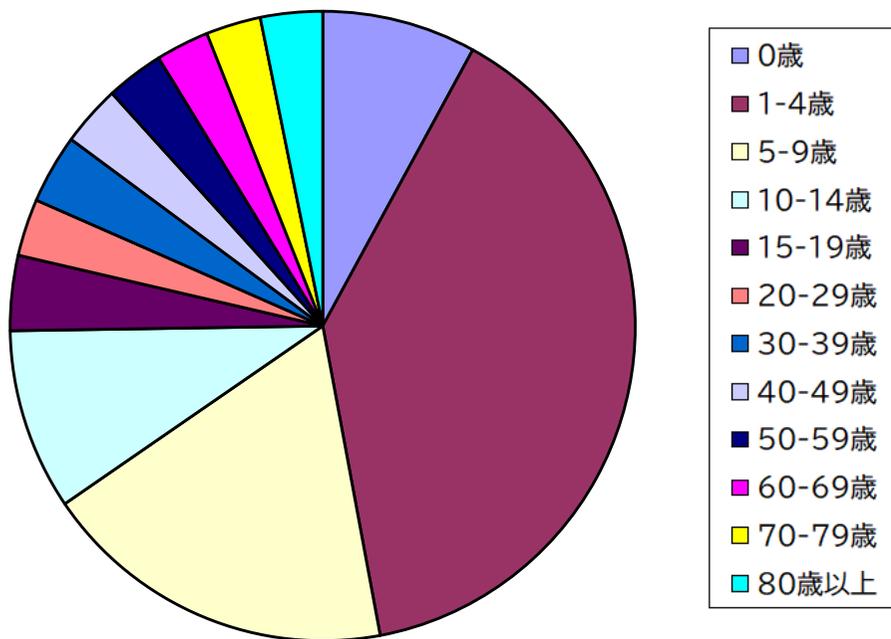


	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週
静岡県	43.86	42.81	38.58	43.65	45.07	44.19	41.98	48.58	43.56	29.04	40.72	43.96	49.52
全国	56.07	51.93	50.58	52.71	52.66	54.03	48.20	52.82	52.49	34.14	47.57	49.75	53.92

# 急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)

2025年第28週～第36週の合計(7/7～9/7)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	7.8%	39.1%	18.7%	9.4%	3.8%	2.9%

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	6.1%	38.1%	21.4%	8.3%	2.5%	3.0%

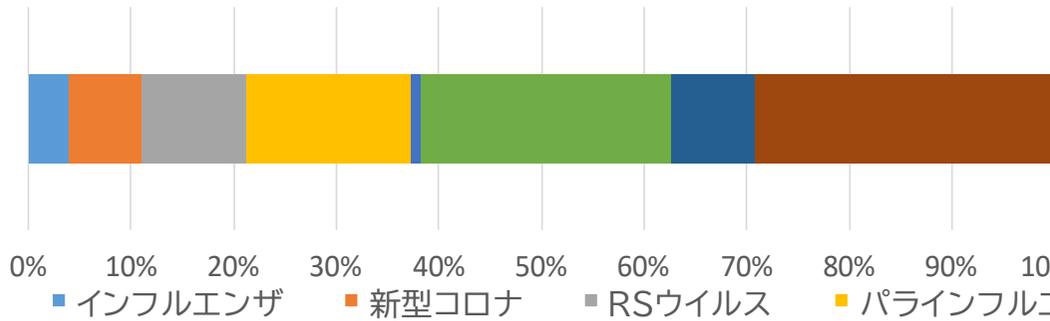
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%	3.2%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.7%	3.4%	3.5%	2.8%	3.3%	3.8%

# 県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について(18歳未満)

検出割合、検出数合計は2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)

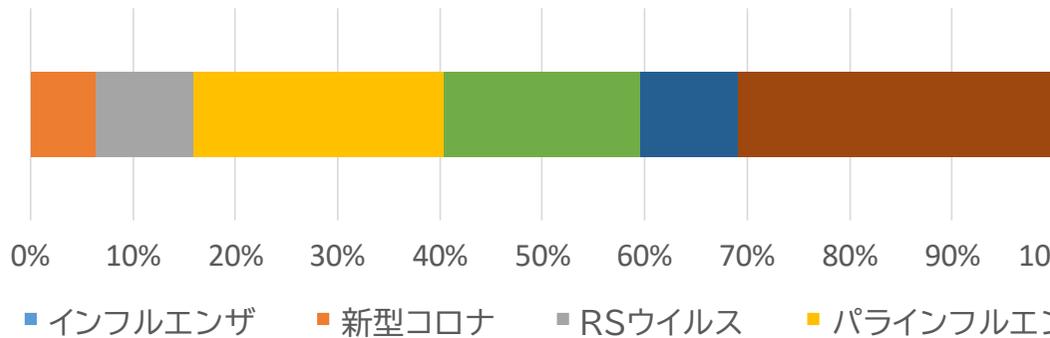
検出割合(18歳未満)



病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	4.0%	7.1%	10.1%	16.2%	1.0%	24.2%	8.1%	29.3%
検出数合計	4	7	10	16	1	24	8	29

検出割合、検出数合計は2025年第28週～第36週の合計(7/7～9/7)

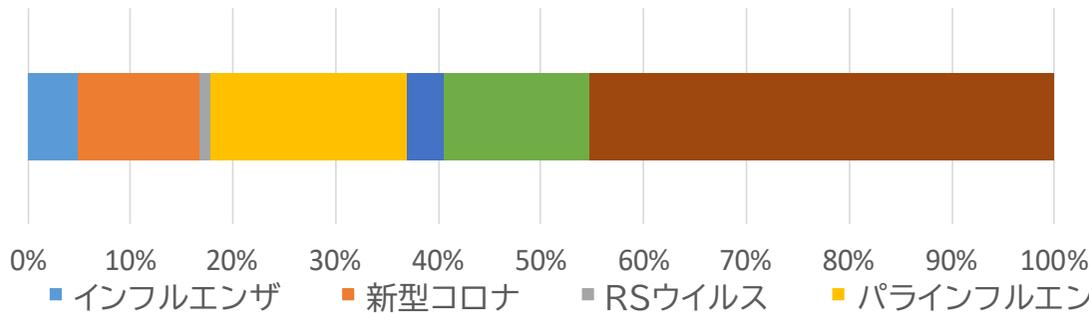
検出割合(18歳未満)



病原体	インフルエンザ	新型コロナ	RSウイルス	パラインフルエンザ	ヒトメタニューモ	ライノ/エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	0.0%	6.4%	9.6%	24.5%	0.0%	19.1%	9.6%	30.9%
検出数合計	0	6	9	23	0	18	9	29
2025年36週	0	1	1	0	0	0	0	1

# 県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の検査結果について(18歳以上)

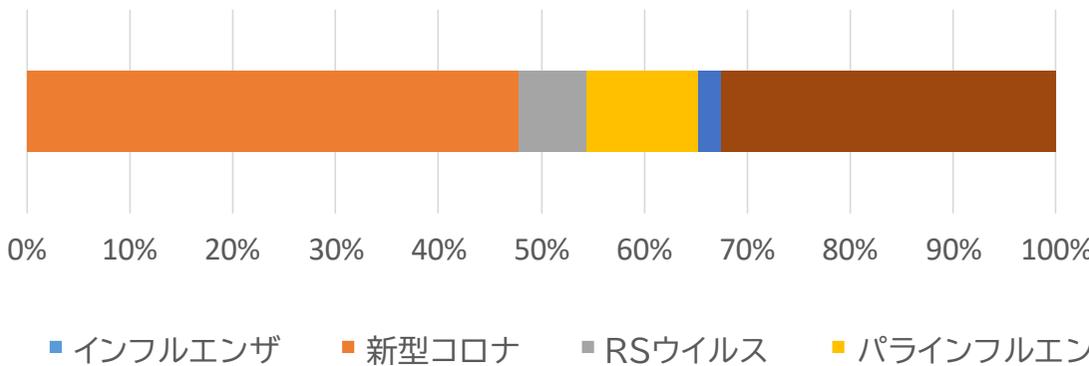
検出割合、検出数合計は2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)  
 検出割合(18歳以上)



病原体	インフル エンザ	新型コロナ	RS ウイルス	パラインフ ルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	4.8%	11.9%	1.2%	19.0%	3.6%	14.3%	0.0%	45.2%
検出数合計	4	10	1	16	3	12	0	38

検出割合、検出数合計は2025年第28週～第36週の合計(7/7～9/7)

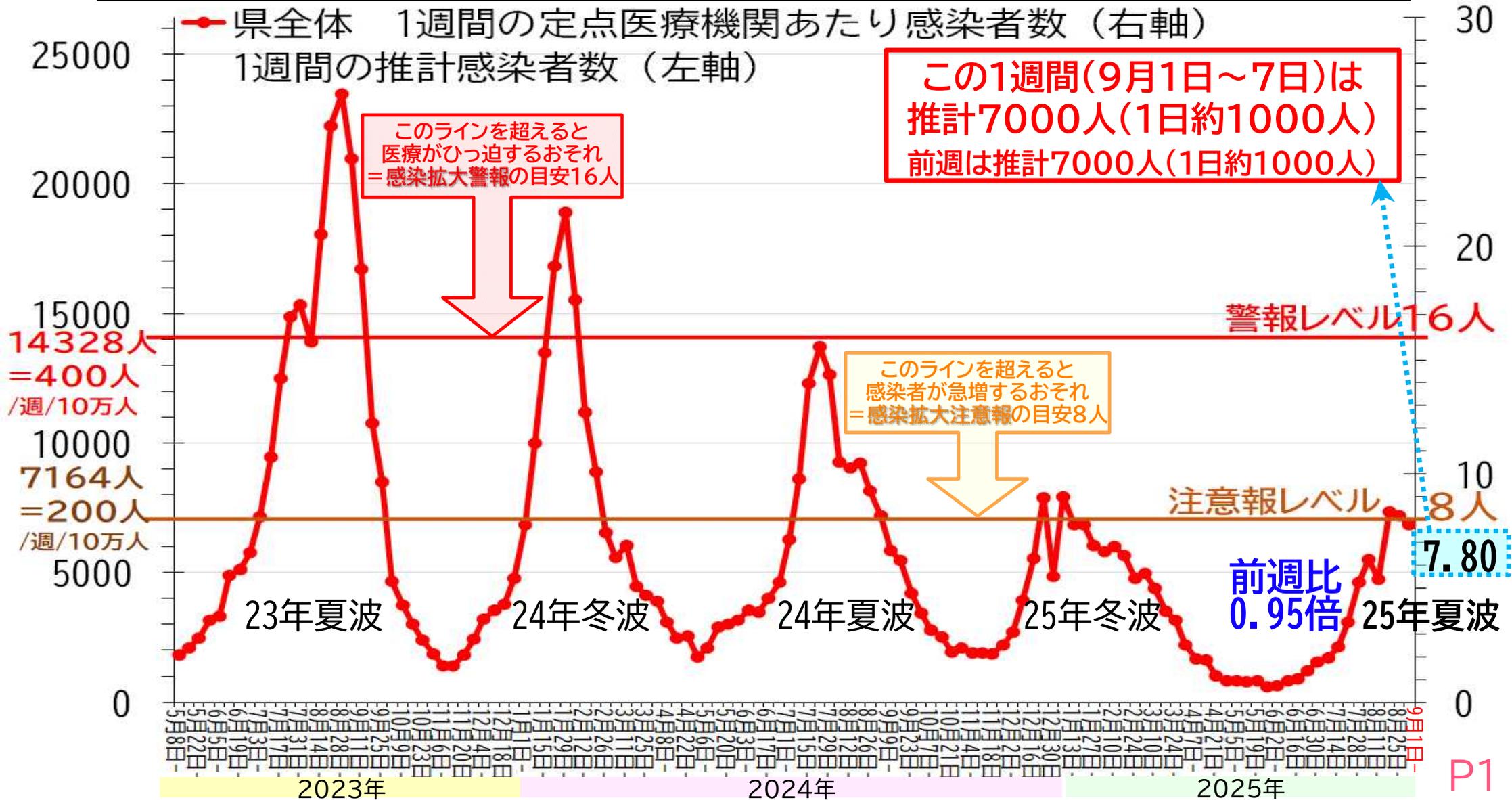
検出割合(18歳以上)



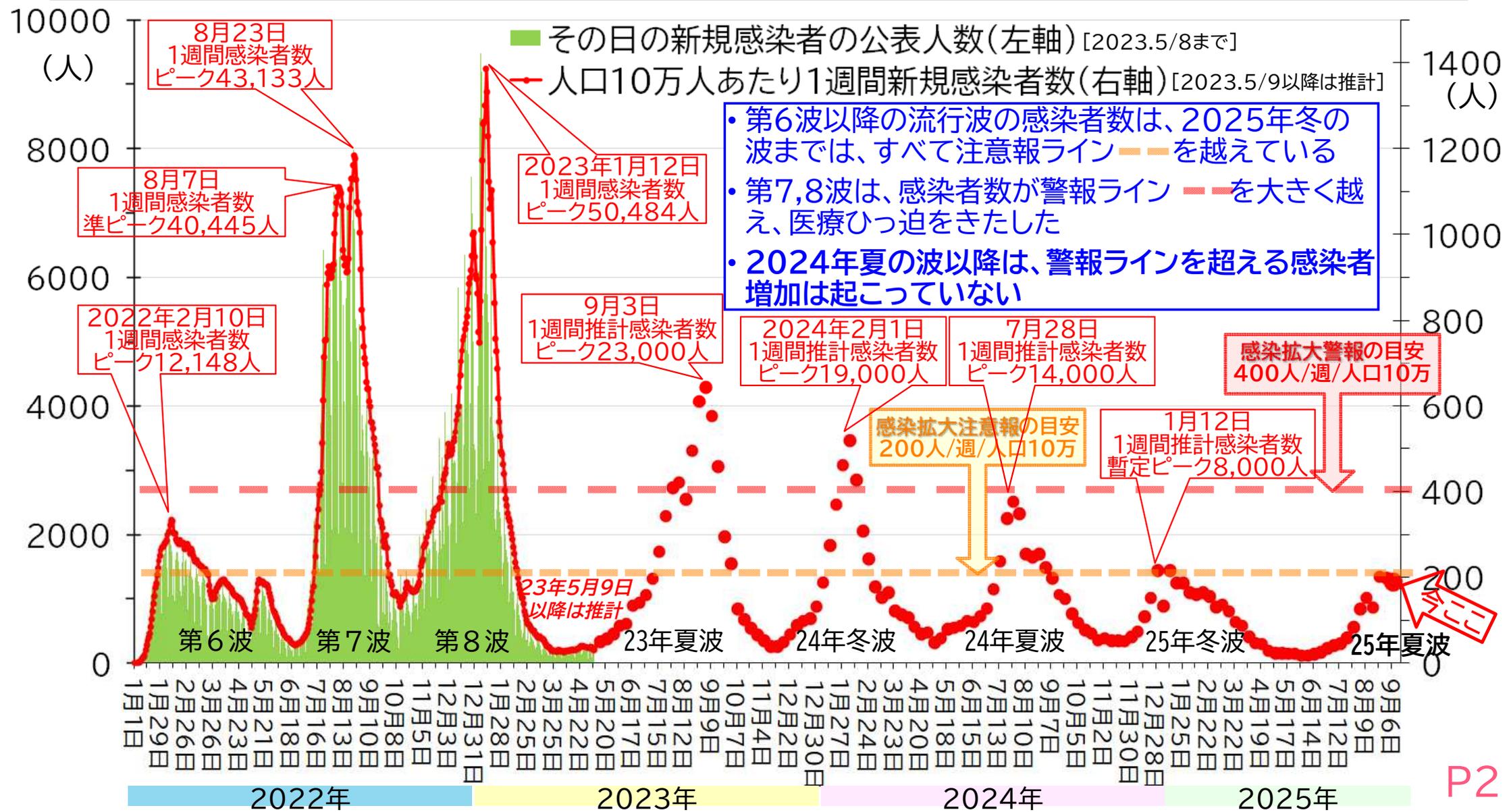
病原体	インフル エンザ	新型 コロナ	RS ウイルス	パラインフ ルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	0.0%	47.8%	6.5%	10.9%	2.2%	0.0%	0.0%	32.6%
検出数合計	0	22	3	5	1	0	0	15
2025年 36週	0	6	1	0	0	0	0	2

■ インフルエンザ ■ 新型コロナ ■ RSウイルス ■ パラインフルエンザ ■ ヒトメタニューモ ■ ライノ/エンテロ ■ アデノ ■ 該当なし

# 静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2025.9/7)

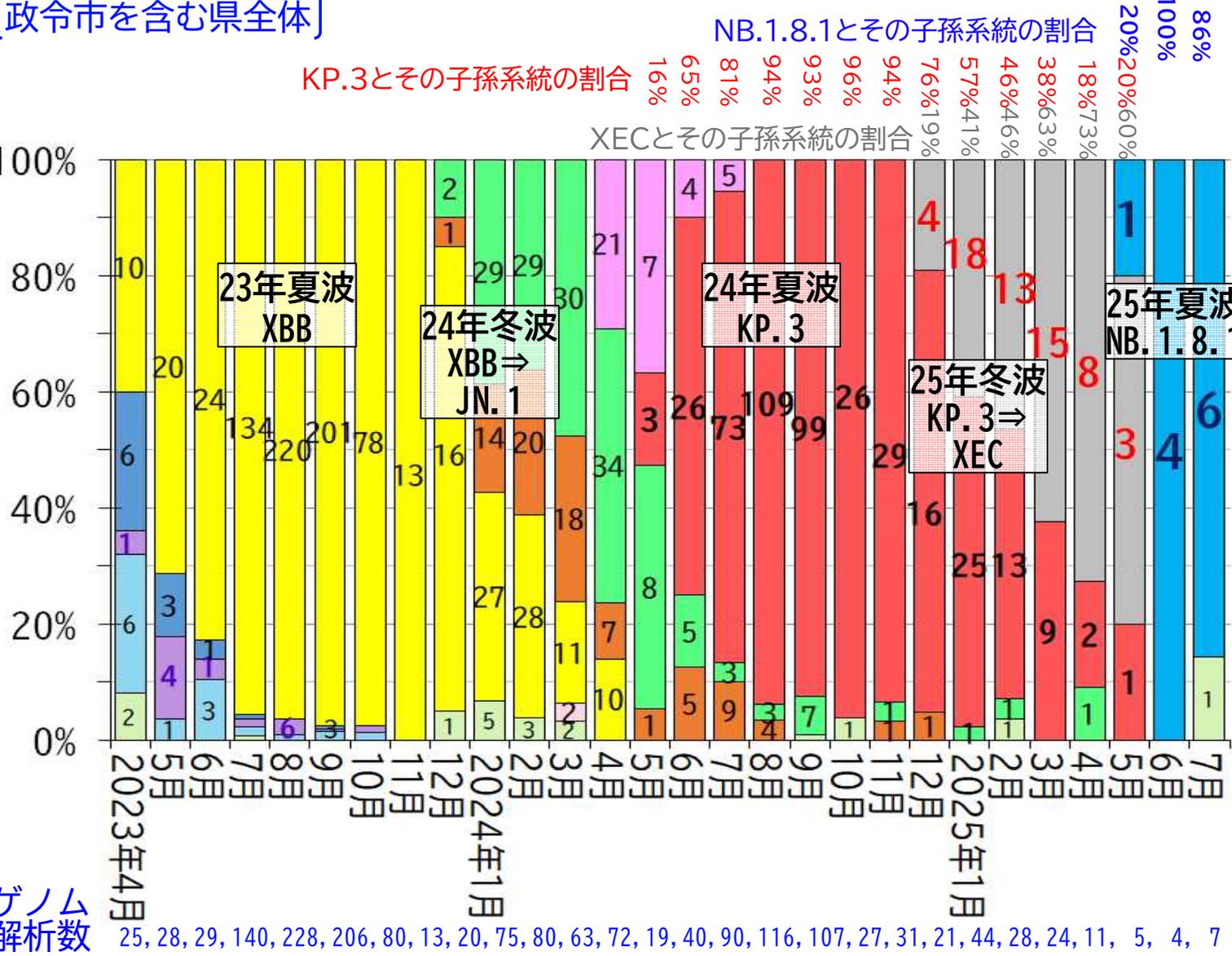


# 静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2025.9/7)



# 静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.4月~2025.7月)

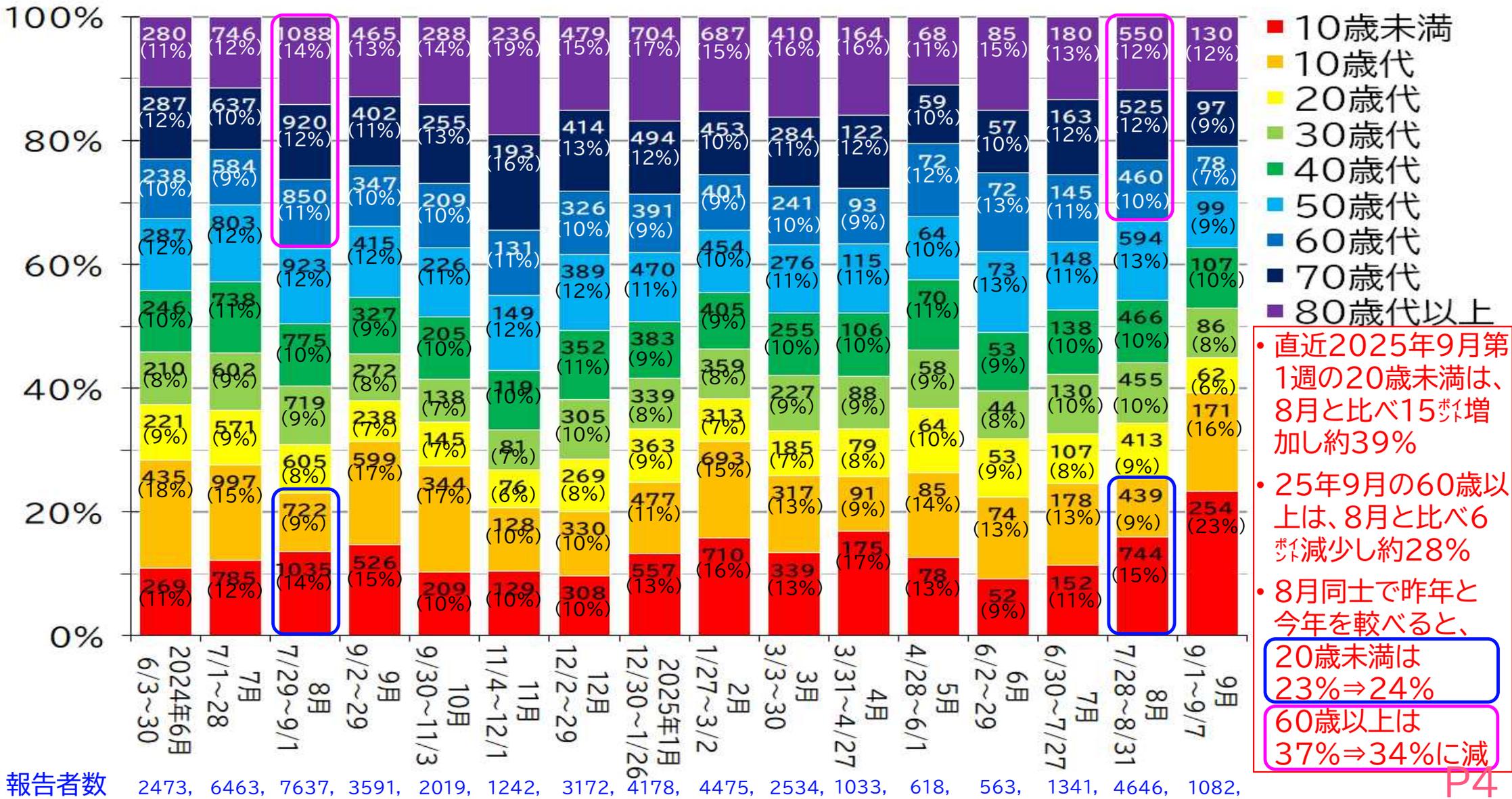
[政令市を含む県全体]



- WHOや国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025年7月)では県全体で、7検体解析したうちの6検体が **NB.1.8.1及びその子孫系統**だった
- ゲノム解析結果は各月で示しているが、例えば4月分は、だいたい3月下旬から4月中旬に結果が判明したものを集計している

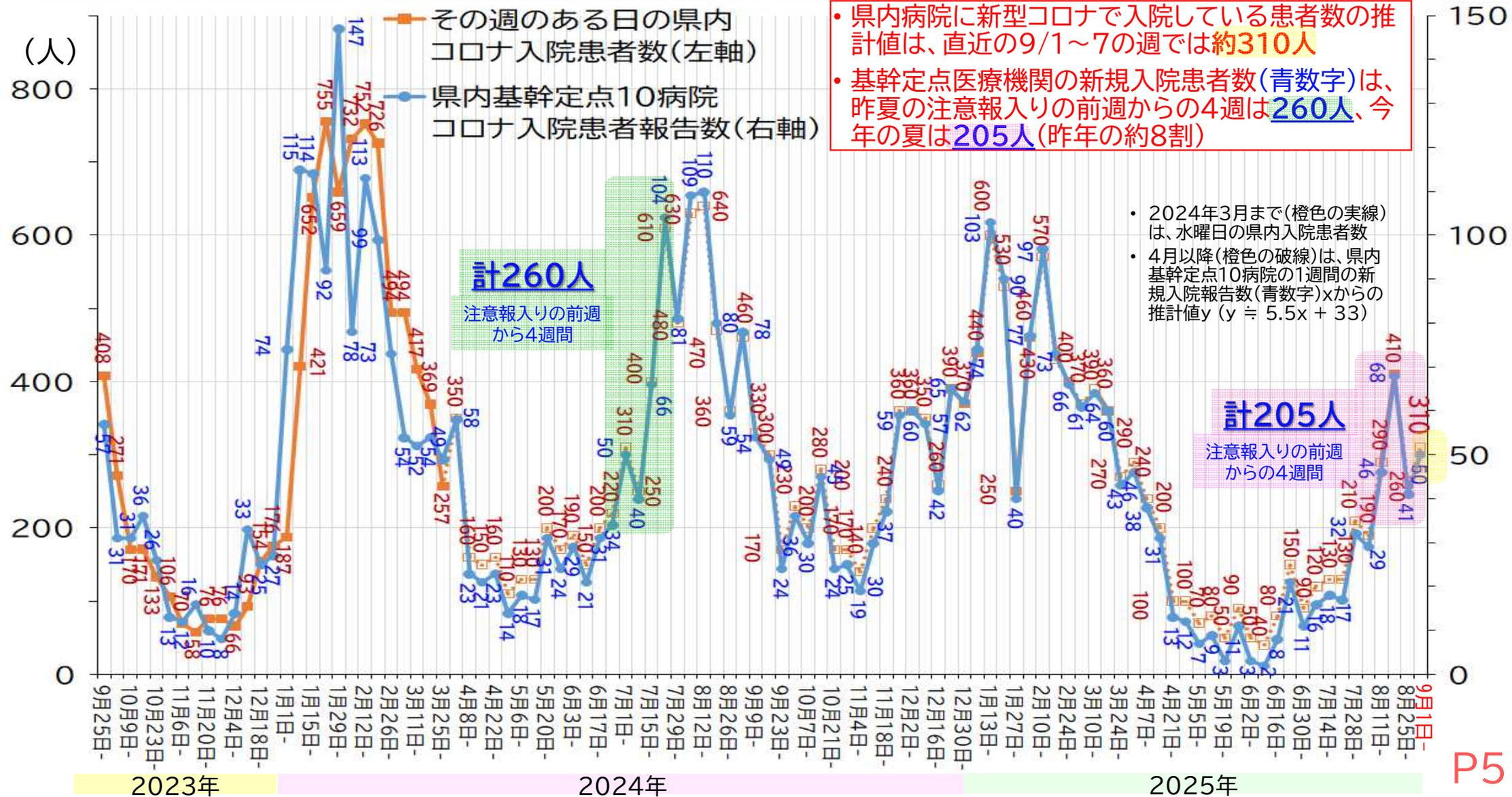
- NB. 1. 8. 1とその子孫系統
- XECとその子孫系統
- XDQ. 1とその子孫系統
- KP. 3とその子孫系統
- JN. 1とその子孫系統
- JN. 1, KP. 3以外のBA. 2. 86系統
- XBB系統
- BQ. 1系統
- BS. 1系統
- BA. 2. 75系統
- その他のBA. 5
- その他のBA. 2
- その他の組替体

# 静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024.4/29~2025.9/7)

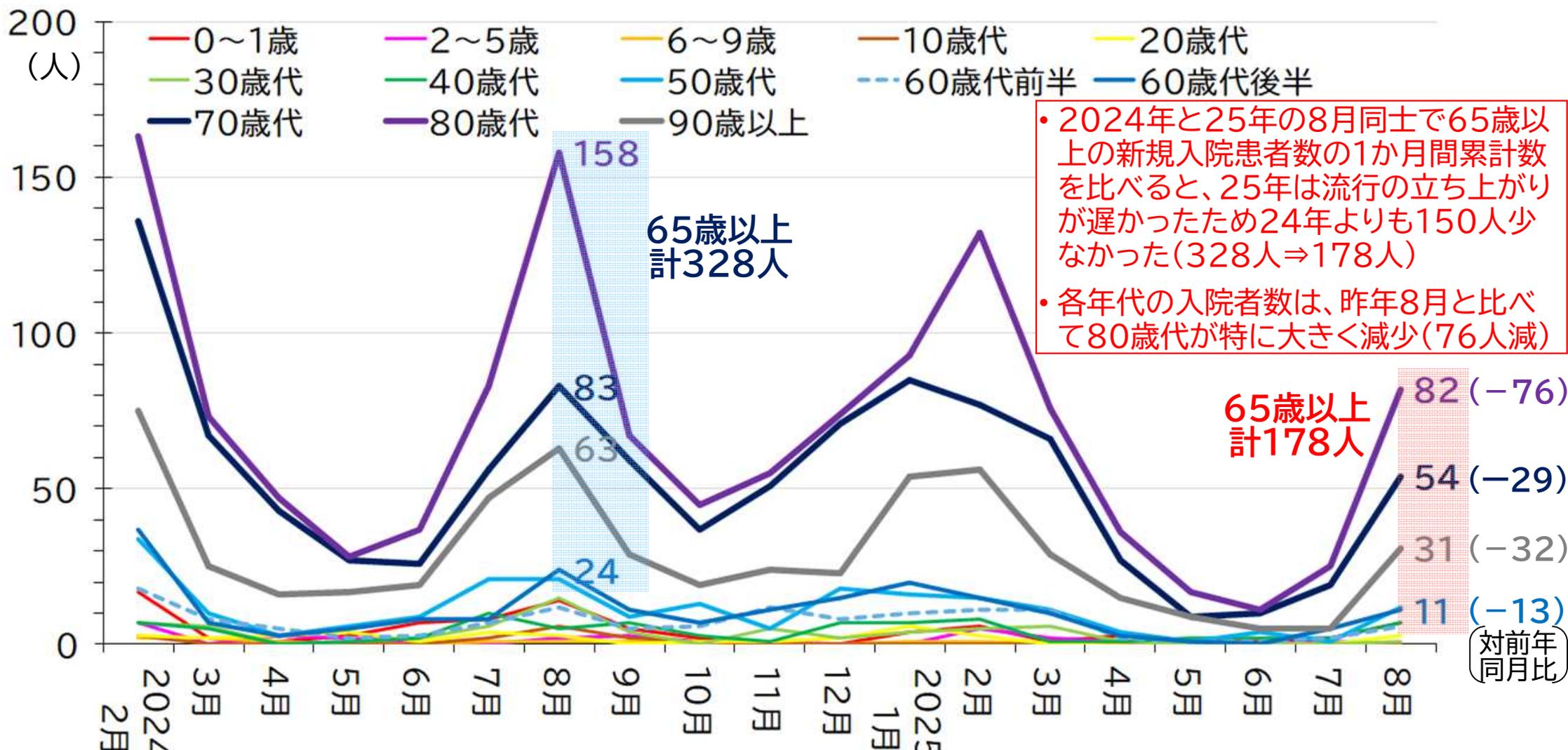


- 直近2025年9月第1週の20歳未満は、8月と比べ15%増加し約39%
- 25年9月の60歳以上は、8月と比べ6%減少し約28%
- 8月同士で昨年と今年を較べると、
  - 20歳未満は 23%⇒24%
  - 60歳以上は 37%⇒34%に減

# 静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024.4/1~2025.9/7)



# 静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移 (2024.2月~2025.8月)



• 2024年と25年の8月同士で65歳以上の新規入院患者数の1か月間累計数を比べると、25年は流行の立ち上がりが遅かったため24年よりも150人少なかった(328人⇒178人)

• 各年代の入院者数は、昨年8月と比べて80歳代が特に大きく減少(76人減)

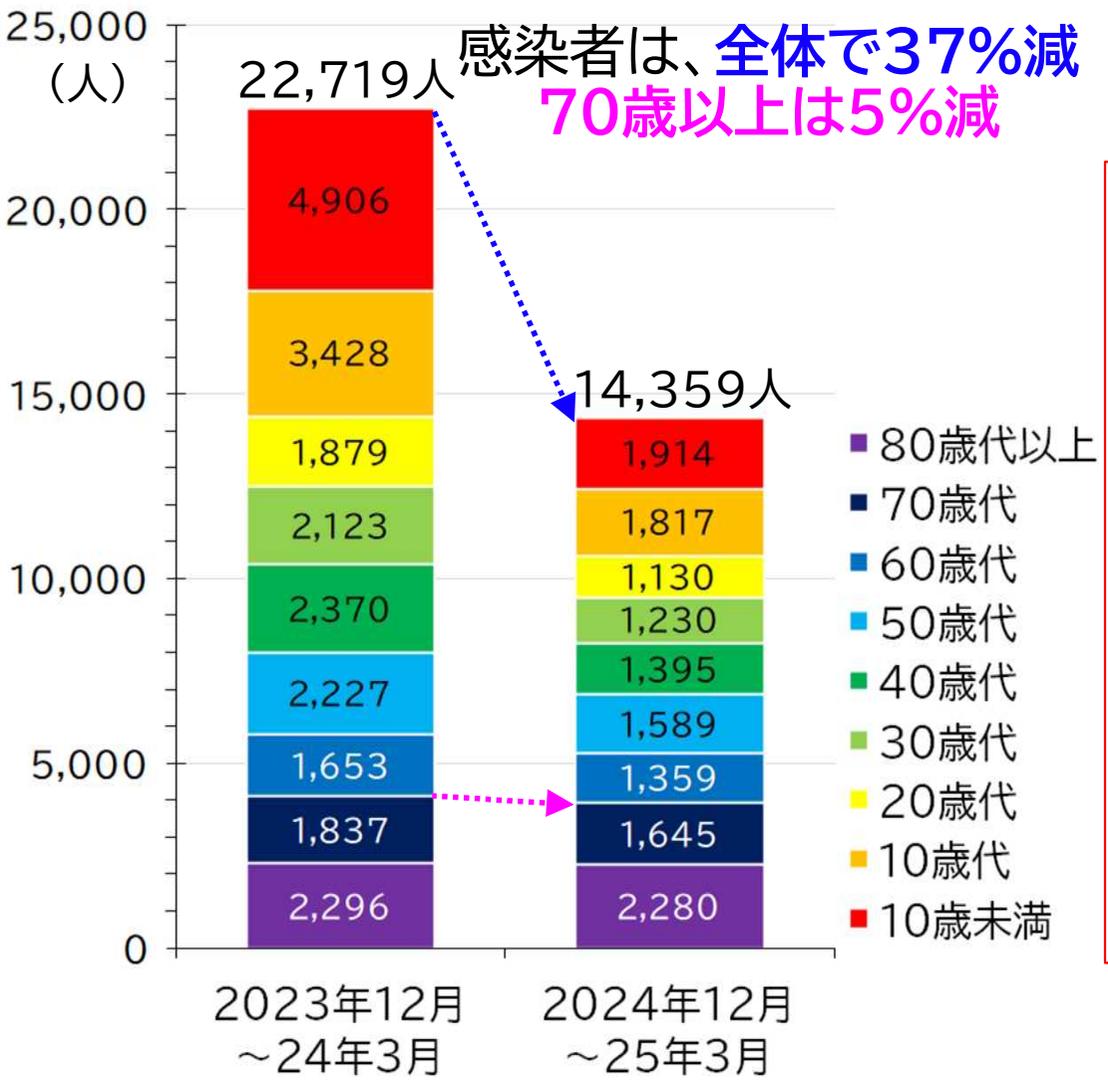
\* 入院者数には、院内感染者を含まない

全年代の入院者数\* 509, 207, 125, 96, 115, 253, 407, 203, 135, 166, 220, 300, 334, 213, 95, 42, 34, 62, 214,

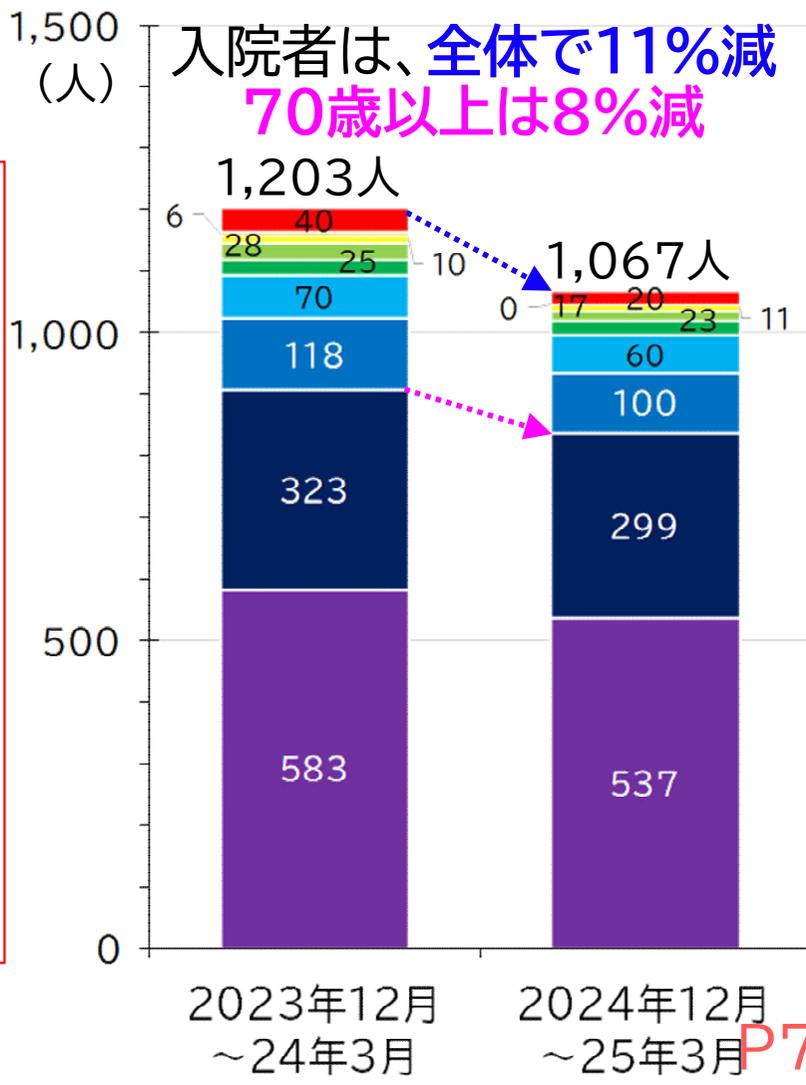
# 静岡県 新型コロナ 定点医療機関の2025年冬と2024年冬の感染者数・入院者数の比較

【県内139定点医療機関の感染者総数】

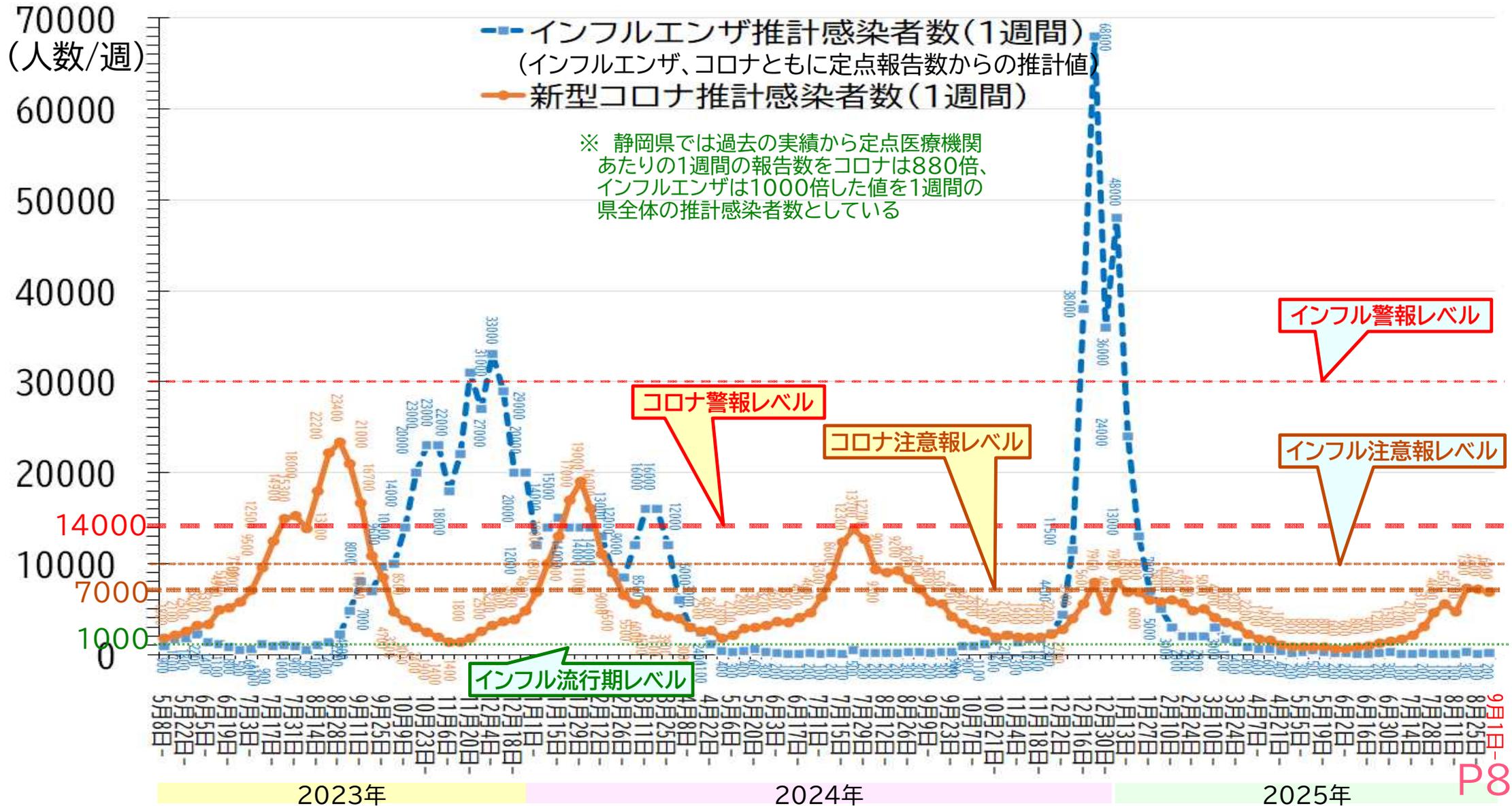
【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】



- コロナ感染者数は、全体では約4割減少したが、高齢者はほとんど減っていない
- コロナ入院者数は、高齢者が約8割を占めているので、全体でも1割程度しか減っていない



# 静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8~2025.9/7)





# 静岡県独自の新型コロナ注意報・警報

## 感染拡大警報

(2023夏の波)8/4~17, 8/25~9/28 (計7週間)

(2024冬の波)2/2~21 (計3週間)

(2024夏の波、2025冬の波)警報なし

## 感染拡大注意報

(2023夏の波)7/14~8/3, 8/18~24, 9/29~10/12 (計6週)

(2024冬の波)1/19~2/1, 2/22~3/7 (計4週間)

(2024夏の波)7/19~9/19 (計9週間)

(2025冬の波)1/9~1/23 (計2週間)

**(2025夏の波)8/29~9/11【いったん解除】**



# 県内コロナ**感染拡大注意報**直後



## もうしばらく4つのお願い

1. **医療機関や高齢者施設**の受診や訪問時は、**できるだけマスク着用を!**
2. **体調に少しでも違和感（特にのど、鼻）がある時は、人と会うときにマスク着用を!**
3. **急に症状（咳・熱・のど痛）が出たときは、学校や仕事を早めに休んで療養を!**
4. **人が集まる所では、換気と咳エチケット（咳くしゃみが出る時は口鼻をおおう）を!**

## 麻疹(はしか)って、どんな感染症？

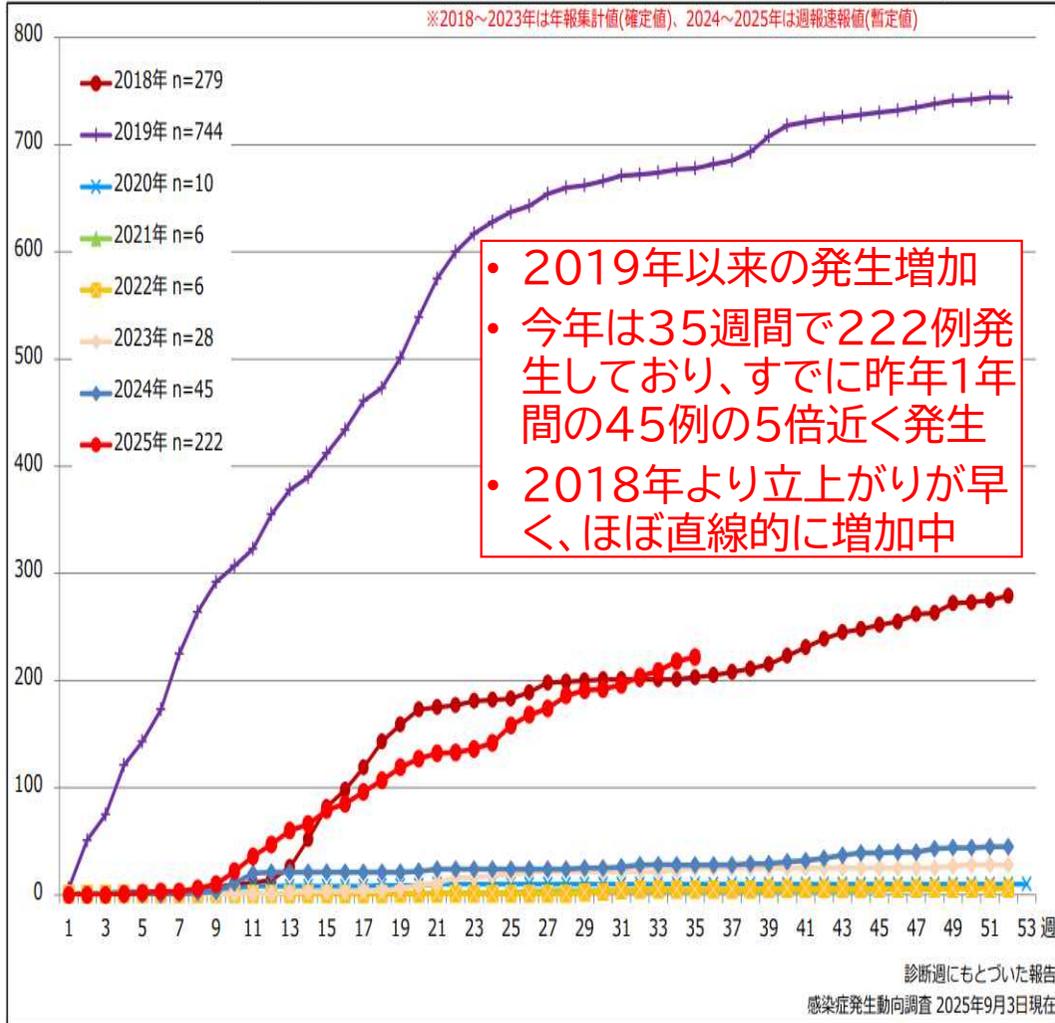
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチンあり**(麻疹・風疹定期接種2回:1歳と5歳)
- 感染者**数100人に1人は死亡**(江戸時代は「命定め」)
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しくほとんどが入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ  
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

# 麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

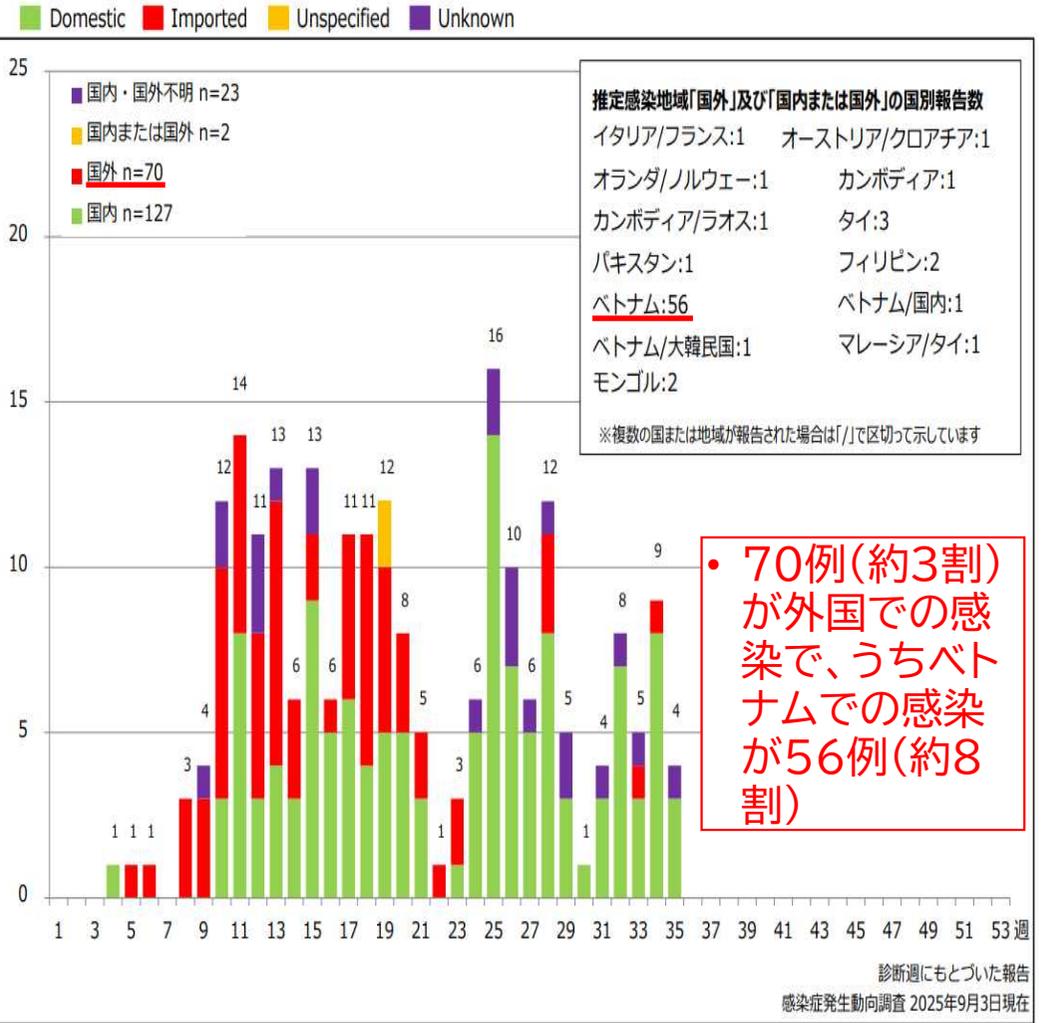
## 1. 麻疹累積報告数の推移 2018~2025年 (第1~35週) (2025年は8月31日まで)

Cumulative measles cases by week, 2018-2025 (week 1-35) (based on diagnosed week as of September 3, 2025)



## 8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2025年 第1~35週 (n=222)(2024年12月30日~25年8月31日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-35, 2025 (based on diagnosed week as of September 3, 2025)

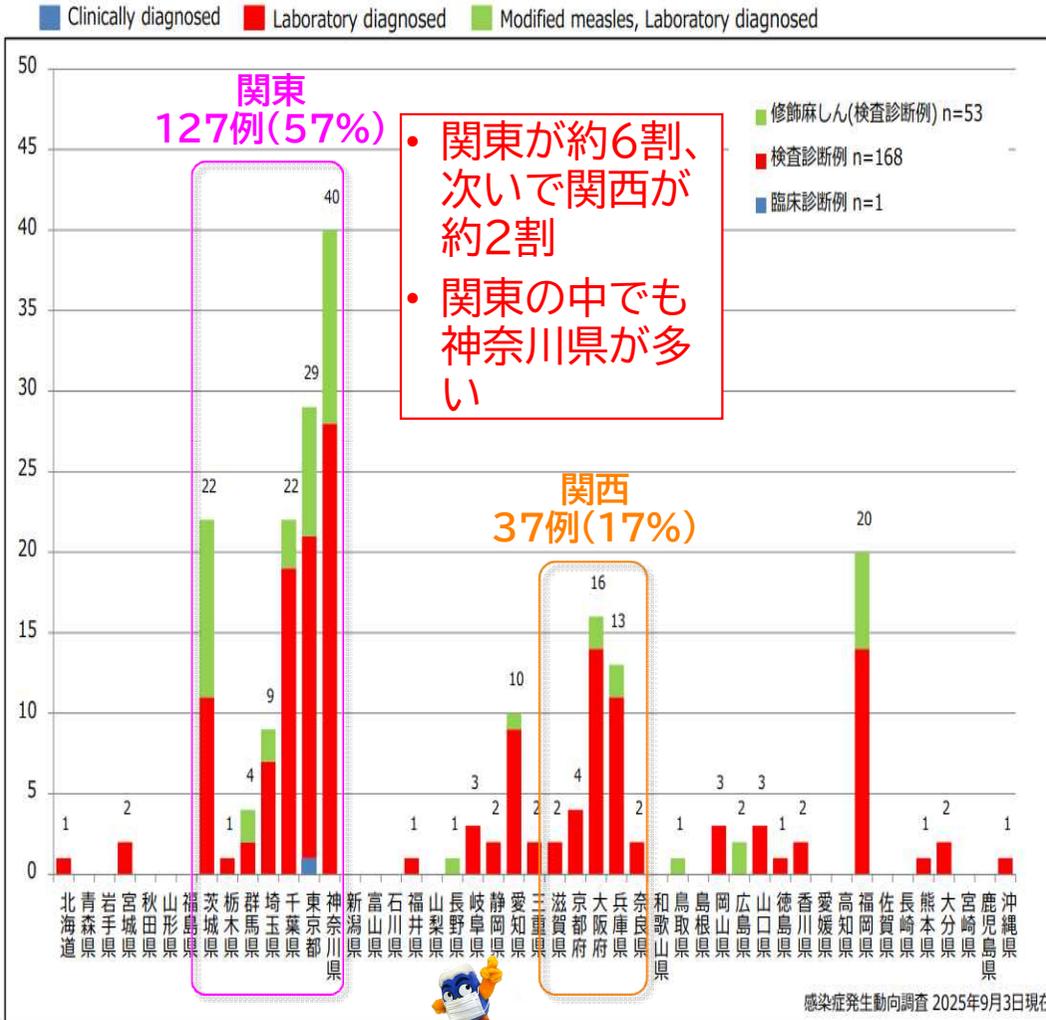


<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-35.pdf> より

# 麻疹 今年の国内発生状況② (国立健康危機管理研究機構のサイトより)

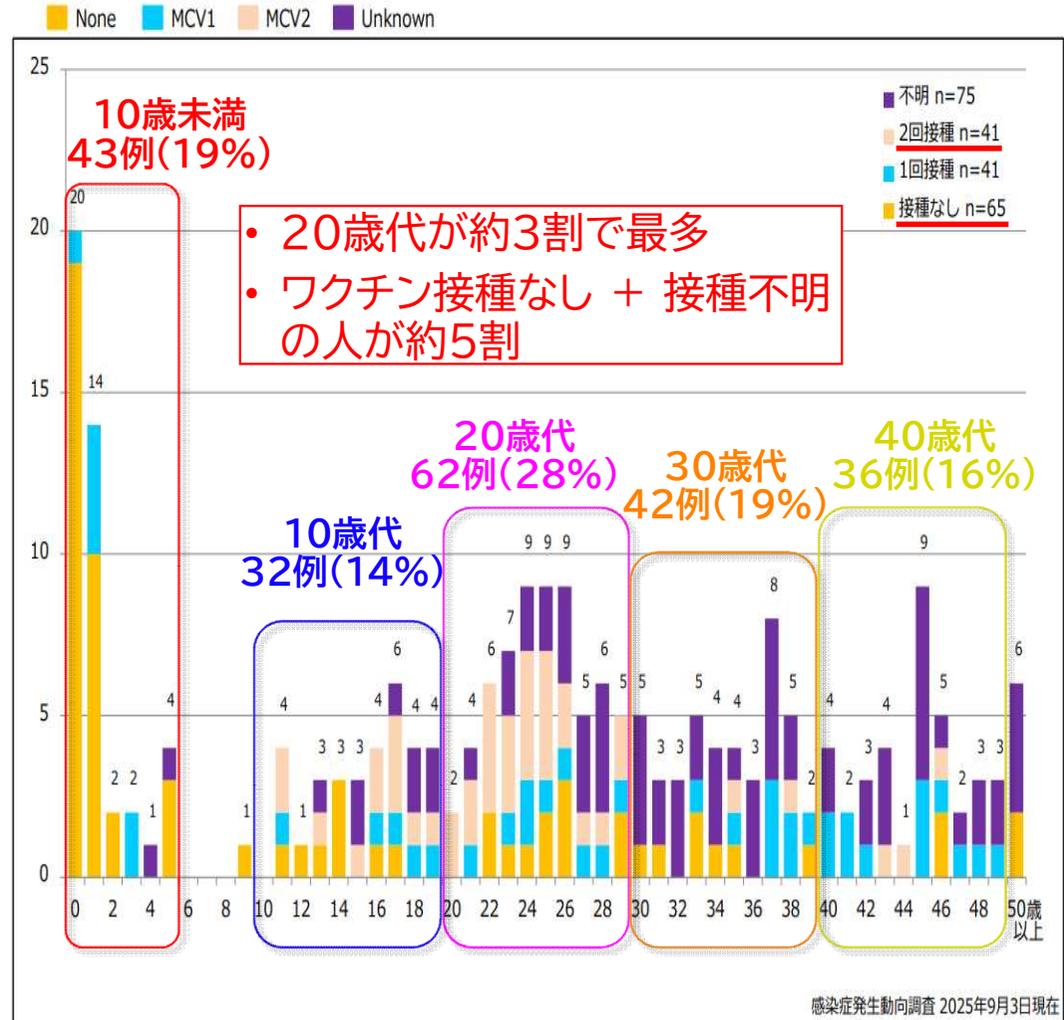
4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2025年 第1~35週 (n=222) (2024年12月30日~25年8月31日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-35, 2025 (as of September 3, 2025)



6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2025年 第1~35週 (n=222) (2024年12月30日~25年8月24日)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-35, 2025 (as of September 3, 2025)



<https://id-info.jhs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-35.pdf> より

## 麻疹に関して県感染症管理センターからのお願い

- **1歳の誕生日がきたら、麻疹・風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつす！**
- 40歳代以下の方は、**母子手帳で、自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回・1回の方は接種(自費)の検討を！**
  - ※特に、**首都圏・近畿によく行く人**  
**海外、特にベトナムに行く人**  
**外国から来た人とよく接する人**

## 破傷風トキソイドの一部出荷停止について

令和7年7月上旬から、破傷風トキソイドの一部製品について供給が不安定となっており、医療機関において、破傷風トキソイドの入手が困難となっている可能性があります。

破傷風トキソイドは、破傷風菌の毒素を中和し、重症化を防ぐことができるため、怪我をして、傷が深い場合や、汚染されている場合等に、破傷風の発症リスクを減らすために使われることがあります。

海や山等、レジャーに行く機会が増える時期ですが、**県民の皆様におかれましては、引き続き、怪我に気を付けていただき、安全に夏を過ごしていただきますようお願い致します。**

### 破傷風とは

土壌や動物の糞便などに存在する破傷風菌が原因で、菌が産生する毒素により、筋肉の麻痺やけいれんを起こし、死亡することもあります。多くは、動物に咬まれた傷や、土や砂で汚れた深い傷から破傷風菌が入って感染します。人から人への感染はありません。潜伏期間は3～21日で平均10日です。国内で年間100人程度の感染者が確認されており、今年は、第36週(9月1日～7日)までに全国で66人、本県で1人です。

# 感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 36 週 令和7年9月1日 ~ 令和7年9月7日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	新型コロナウイルス感染症	64名	
2	インフルエンザB型	23名	(インフルエンザA型 1名)
3	感染性胃腸炎	17名	

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	かわづクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	13歳女性 1人
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	47	
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	8	
熱海	むらかみ小児科クリニック	百日咳	1	8歳女兒
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	百日咳	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	17	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	腸管アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ感染症	2	
東部	窪田医院	新型コロナウイルス感染症	5	
東部	よぞ小児科医院	手足口病	3	
東部	よぞ小児科医院	伝染性紅斑	1	
東部	よぞ小児科医院	ヘルパンギーナ	5	
東部	よぞ小児科医院	新型コロナウイルス感染症	4	
東部	よぞ小児科医院	溶連菌感染症	1	
東部	よぞ小児科医院	マイコプラズマ感染症	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	百日咳	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	RSウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	感染性胃腸炎	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	手足口病	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	伝染性紅斑	8	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	突発性発しん	3	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	ヘルパンギーナ	8	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	インフルエンザB型	3	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	新型コロナウイルス感染症	14	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	咽頭アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	溶連菌感染症	10	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザB型	2	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	感染性胃腸炎	16	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	6	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	16	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	1	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	9	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザB型	2	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザB型	1	
静岡市	静岡市立静岡病院	咽頭アデノ	1	2歳女
浜松市	浜松医療センター	マイコプラズマ肺炎	1	
浜松市	クリニック・パパ	百日咳	1	
浜松市	げんきこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	
浜松市	社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	マイコプラズマ肺炎	1	
浜松市	社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	細菌性髄膜炎	1	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



感染症対策

	静岡県							全国				
	第 31週	第 32週	第 33週	第 34週	第 35週	今週	年累計	第 33週	第 34週	第 35週	今週	年累計
エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	4	8	8	6	5	5	277	179	229	249	233	9725
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1	4	2	2	39
腸管出血性大腸菌感染症	4	6	2	4	2	4	38	133	175	171	156	2610
腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	2	22
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	7
E型肝炎	0	0	0	0	0	0	7	6	5	15	11	414
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	3	1	2	4	93
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
炭癩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	1	7	5	1	4	3	152
腎臓慢性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	1	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	18
つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	105
デング熱	0	0	0	0	0	0	2	5	5	5	3	110
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニバウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	1	0	0	0	1	1	19	22	22	18	18	418
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボウリス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	18
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	16
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レジオネラ症	4	0	3	1	1	1	59	50	59	49	44	1564
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	3	20
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	6	2	4	13	317
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	2	2	4	2	167
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	0	1	0	0	0	8	16	16	20	15	888
急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	22
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	1	1	0	0	0	0	23	4	6	3	5	374
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	19
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	4	2	3	2	3	123
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	1	0	18	14	16	12	15	1004
機天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	0	10	6	11	14	7	576
ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	25
慢性的インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	12	6	6	10	9	506
慢性的髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	62
慢性的肺炎球菌感染症	0	1	0	0	0	1	88	19	29	17	27	2616
水痘(入院例に限る)	0	0	0	0	0	0	9	15	8	7	9	481
先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	4	1	0	2	4	4	214	118	218	210	197	9631
播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	2	114
破傷風	0	0	0	0	1	0	1	3	6	1	2	66
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	1	1	2	0	63
百日咳	76	56	40	50	55	43	1337	1506	2762	2258	1921	74724
風しん	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	10
麻疹	0	0	0	0	0	0	2	5	8	4	3	225
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

# 定点把握感染症集計表(届出数)

2025 第 36 週

		静岡県						全国					
		第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	今週	計	第33週	第34週	第35週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	64	78	91	96	134	174	637	1,358	1,790	3,013	3,896	10,057
	咽頭結膜熱	29	38	19	23	16	15	140	534	749	589	736	2,608
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	93	96	51	66	73	64	443	2,093	3,096	3,695	4,109	12,993
	感染性胃腸炎	346	392	195	306	298	379	1,916	5,296	9,469	10,159	10,963	35,887
	水痘	14	6	12	13	12	13	70	430	604	457	509	2,000
	手足口病	29	28	17	25	50	43	192	752	1,063	1,199	1,337	4,351
	伝染性紅斑	245	232	151	220	173	164	1,185	2,495	4,809	4,754	4,323	16,381
	突発性発しん	40	34	17	17	23	33	164	496	778	771	816	2,861
	ヘルパンギーナ	117	112	74	102	145	149	699	1,645	2,243	2,788	2,464	9,140
	流行性耳下腺炎	6	3	3	3	4	3	22	83	86	112	88	369
小・内	インフルエンザ	19	18	18	45	16	30	146	980	1,183	1,347	1,949	5,459
	新型コロナウイルス感染症	730	871	750	1,159	1,136	1,084	5,730	22,288	33,275	32,197	31,329	119,089
眼科	急性出血性結膜炎					1		1	11	9	10	10	40
	流行性角結膜炎	15	11	11	23	19	16	95	420	793	754	761	2,728
基幹	細菌性髄膜炎						1	1	5	14	6	12	37
	無菌性髄膜炎			2	2	1	1	6	30	33	32	29	124
	マイコプラズマ肺炎	5	7	7	3	13	8	43	558	472	504	467	2,001
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									3	2	5	10
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								2	2	5	1	10

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2025 第 36 週

		静岡県					全国				
		第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	今週	第33週	第34週	第35週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.72	0.88	1.02	1.08	1.51	1.96	0.63	0.77	1.28	1.66
	咽頭結膜熱	0.33	0.43	0.21	0.26	0.18	0.17	0.25	0.32	0.25	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.04	1.08	0.57	0.74	0.82	0.72	0.97	1.34	1.58	1.75
	感染性胃腸炎	3.89	4.40	2.19	3.44	3.35	4.26	2.46	4.08	4.33	4.66
	水痘	0.16	0.07	0.13	0.15	0.13	0.15	0.20	0.26	0.19	0.22
	手足口病	0.33	0.31	0.19	0.28	0.56	0.48	0.35	0.46	0.51	0.57
	伝染性紅斑	2.75	2.61	1.70	2.47	1.94	1.84	1.16	2.07	2.03	1.84
	突発性発しん	0.45	0.38	0.19	0.19	0.26	0.37	0.23	0.34	0.33	0.35
	ヘルパンギーナ	1.31	1.26	0.83	1.15	1.63	1.67	0.77	0.97	1.19	1.05
	流行性耳下腺炎	0.07	0.03	0.03	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.05	0.04
小・内科	インフルエンザ	0.14	0.13	0.13	0.32	0.12	0.22	0.28	0.31	0.35	0.50
	新型コロナウイルス感染症	5.25	6.27	5.40	8.34	8.17	7.80	6.30	8.73	8.37	8.12
眼科	急性出血性結膜炎					0.05		0.02	0.01	0.01	0.01
	流行性角結膜炎	0.68	0.50	0.50	1.05	0.86	0.73	0.67	1.14	1.08	1.09
基幹	細菌性髄膜炎						0.10	0.01	0.03	0.01	0.02
	無菌性髄膜炎			0.20	0.20	0.10	0.10	0.06	0.07	0.07	0.06
	マイコプラズマ肺炎	0.50	0.70	0.70	0.30	1.30	0.80	1.16	0.98	1.05	0.97
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.01	0.00	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.00	0.00	0.01	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

# 定点把握感染症保健所別集計表

## 第36週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	174	1.96	15	0.17	64	0.72	379	4.26	13	0.15
賀茂							4	2.00		
熱海	2	0.50	1	0.25	2	0.50	22	5.50		
東部	40	3.08	2	0.15	17	1.31	19	1.46	1	0.08
御殿場	2	0.50	1	0.25	1	0.25	37	9.25	3	0.75
富士	3	0.33			8	0.89	15	1.67		
静岡市	30	1.88	8	0.50	16	1.00	74	4.63	1	0.06
中部	23	2.09	1	0.09	7	0.64	65	5.91	2	0.18
西部	32	2.67	2	0.17	2	0.17	57	4.75	2	0.17
浜松市	42	2.33			11	0.61	86	4.78	4	0.22

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	43	0.48	164	1.84	33	0.37	149	1.67	3	0.03
賀茂										
熱海			9	2.25	1	0.25	4	1.00		
東部	13	1.00	24	1.85	4	0.31	28	2.15	1	0.08
御殿場	5	1.25	9	2.25	2	0.50	7	1.75		
富士	6	0.67	13	1.44	3	0.33	23	2.56		
静岡市	2	0.13	8	0.50	10	0.63	14	0.88		
中部	1	0.09	11	1.00	3	0.27	17	1.55		
西部	8	0.67	56	4.67	4	0.33	23	1.92	1	0.08
浜松市	8	0.44	34	1.89	6	0.33	33	1.83	1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関(定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	30	0.22	1,084	7.80	8.0	16.0	89	50
賀茂			43	14.33	13.0	26.0	2	1
熱海			38	6.33	9.0	18.0	4	2
東部	3	0.15	124	6.20	8.0	16.0	13	7
御殿場	20	3.33	86	14.33	17.0	34.0	4	2
富士	1	0.07	162	10.80	11.0	22.0	9	6
静岡市			141	5.64	6.0	12.0	16	9
中部			130	7.65	8.0	16.0	11	6
西部	2	0.11	164	8.63	10.0	20.0	12	7
浜松市	4	0.14	196	7.00	7.0	14.0	18	10

\*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第 36 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		16	0.73	1	0.10	1	0.10	8	0.80
賀茂										
熱海									1	1.00
東部			1	0.25						
御殿場										
富士			10	3.33			1	1.00	2	2.00
静岡市			3	0.60						
中部			1	0.33					2	2.00
西部			1	0.25					2	2.00
浜松市					1	0.50			1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

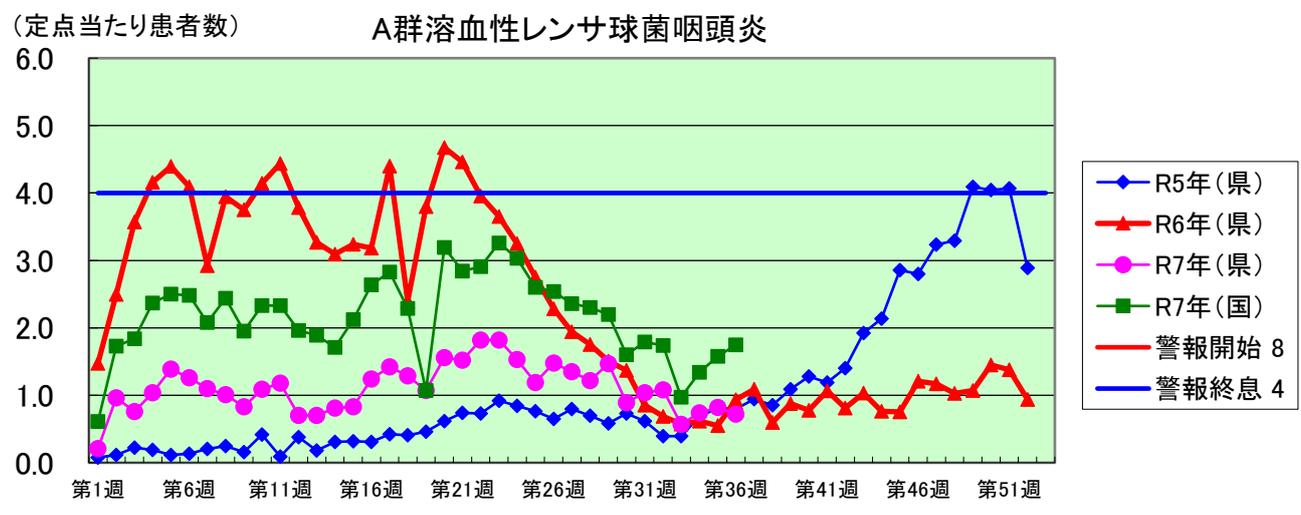
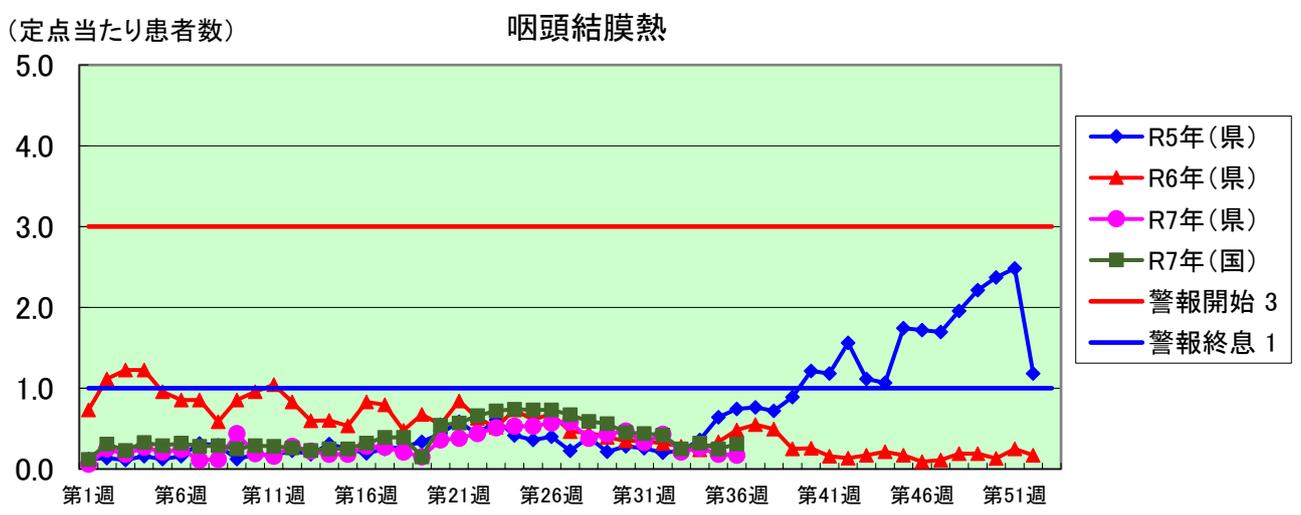
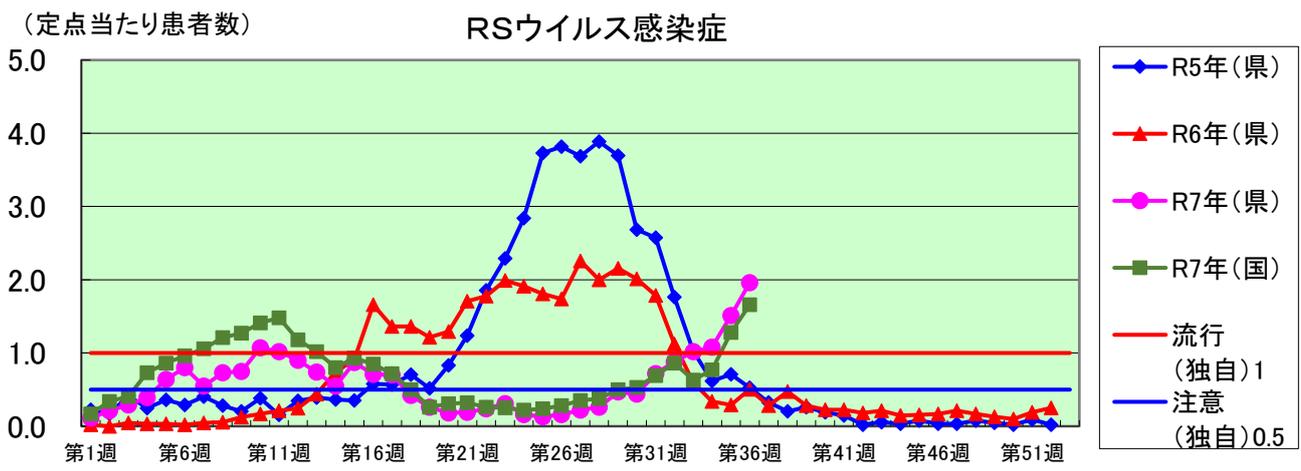
\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。



### 定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

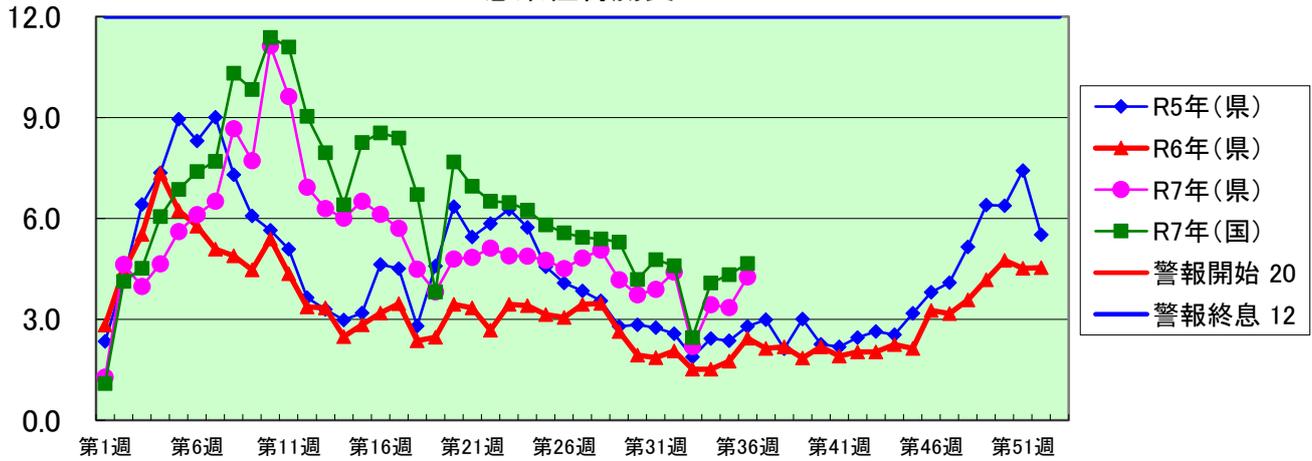
2025 第 36 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上						計		
RSウイルス感染症	0.25	0.29	0.88	0.34	0.09	0.03	0.03	0.01		0.01		0.02								1.96		
咽頭結膜熱		0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01				0.01								0.17		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.02	0.04	0.04	0.07	0.12	0.09	0.15	0.08	0.02	0.03	0.03		0.01						0.72		
感染性胃腸炎	0.01	0.29	0.62	0.46	0.34	0.34	0.45	0.34	0.17	0.15	0.22	0.52	0.10	0.26						4.26		
水痘			0.01	0.01				0.01	0.02	0.02	0.03	0.03								0.15		
手足口病		0.06	0.18	0.13	0.04	0.01	0.01		0.01	0.01	0.01	0.01								0.48		
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.08	0.17	0.33	0.37	0.34	0.25	0.06	0.08	0.06	0.08		0.01						1.84		
突発性発しん	0.01	0.07	0.24	0.03	0.02															0.37		
ヘルパンギーナ	0.02	0.11	0.53	0.42	0.25	0.12	0.13	0.03	0.02		0.02	0.01								1.67		
流行性耳下腺炎			0.01	0.01	0.01															0.03		
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ		0.01	0.01	0.01		0.01	0.01	0.01	0.06	0.04	0.01	0.04			0.01		0.01				0.22	
新型コロナウイルス感染症	0.09	0.14	0.27	0.14	0.21	0.10	0.14	0.23	0.23	0.12	0.17	0.87	0.36	0.45	0.62	0.77	0.71	0.56	0.70	0.94	7.80	
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計		
急性出血性結膜炎																				0	0.00	
流行性角結膜炎			0.05		0.05							0.05		0.14	0.24	0.10	0.05	0.05	0.05	0	0.73	
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						計
細菌性髄膜炎							0.10															0.10
無菌性髄膜炎															0.10							0.10
マイコプラズマ肺炎		0.10	0.20	0.30			0.20															0.80
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						0.00



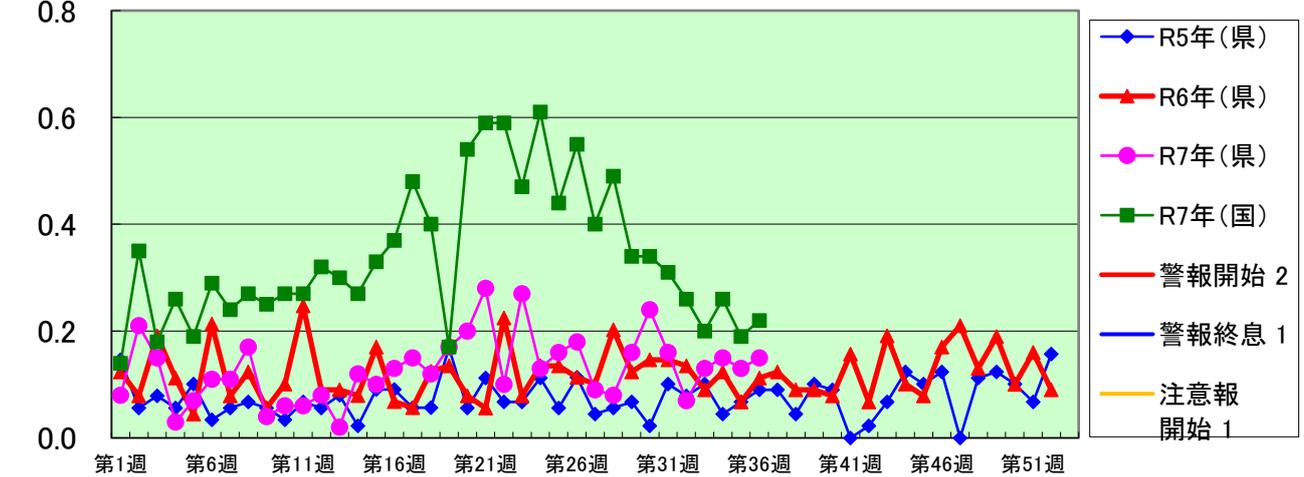
(定点当たり患者数)

### 感染性胃腸炎



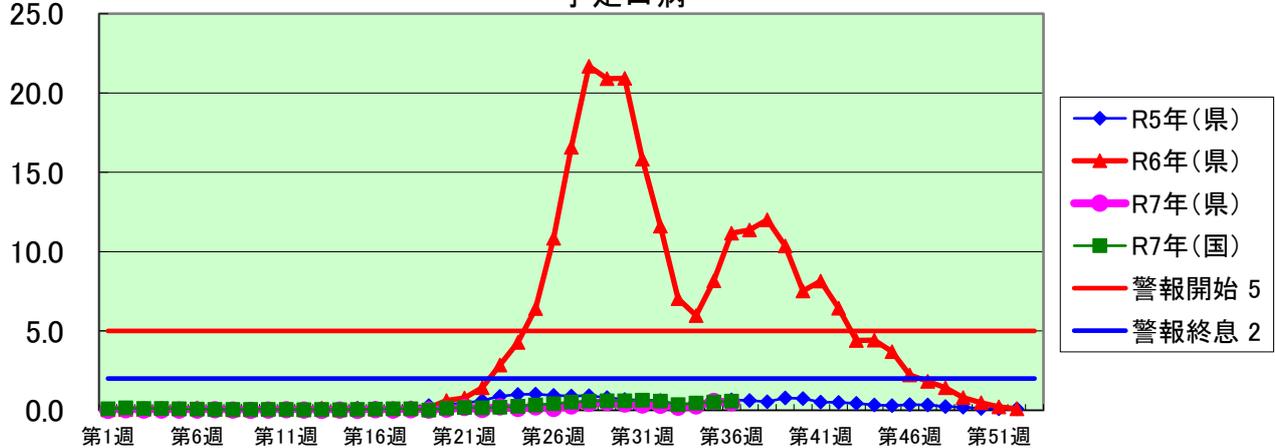
(定点当たり患者数)

### 水痘



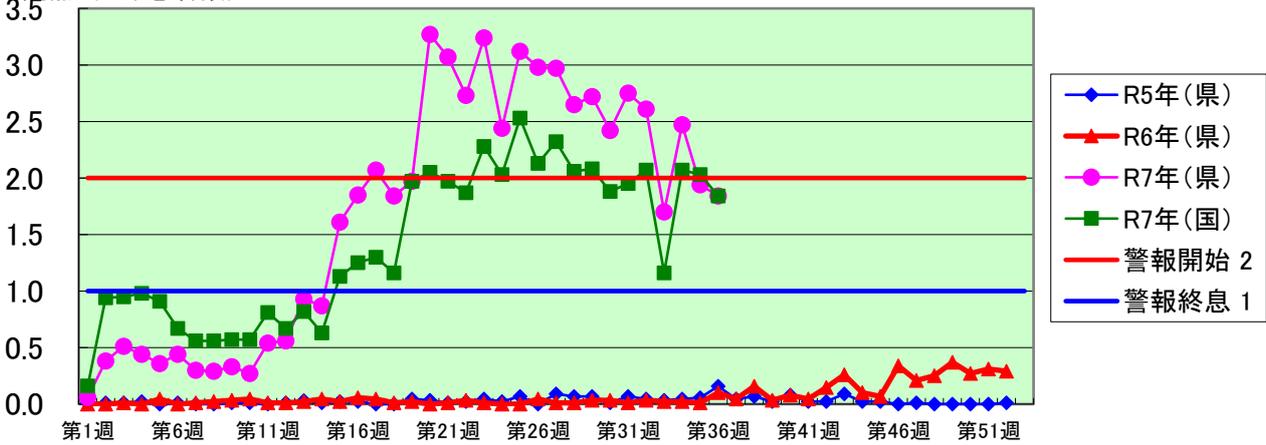
(定点当たり患者数)

### 手足口病



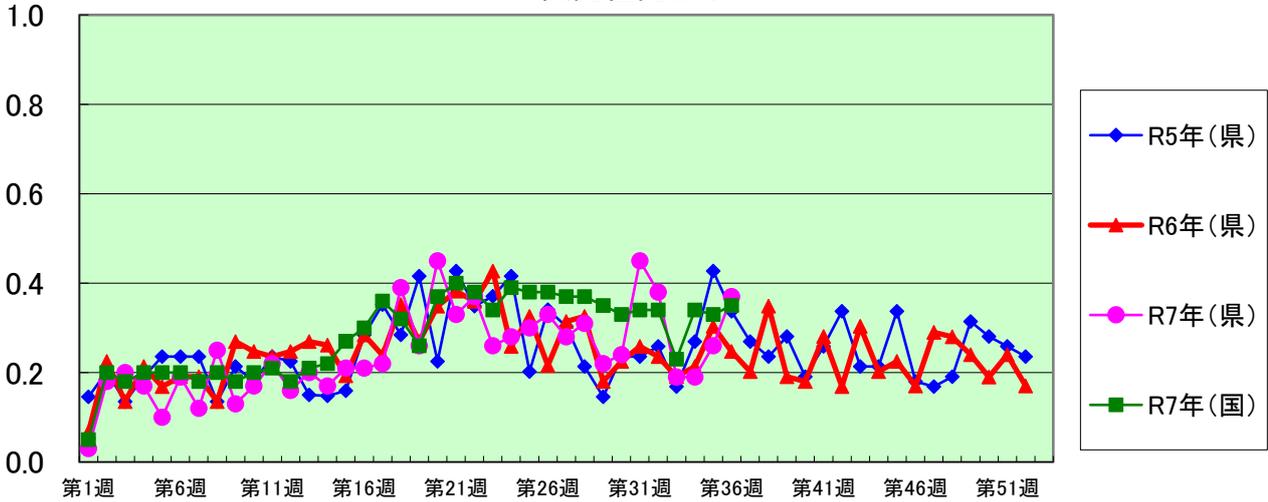
(定点当たり患者数)

### 伝染性紅斑



(定点当たり患者数)

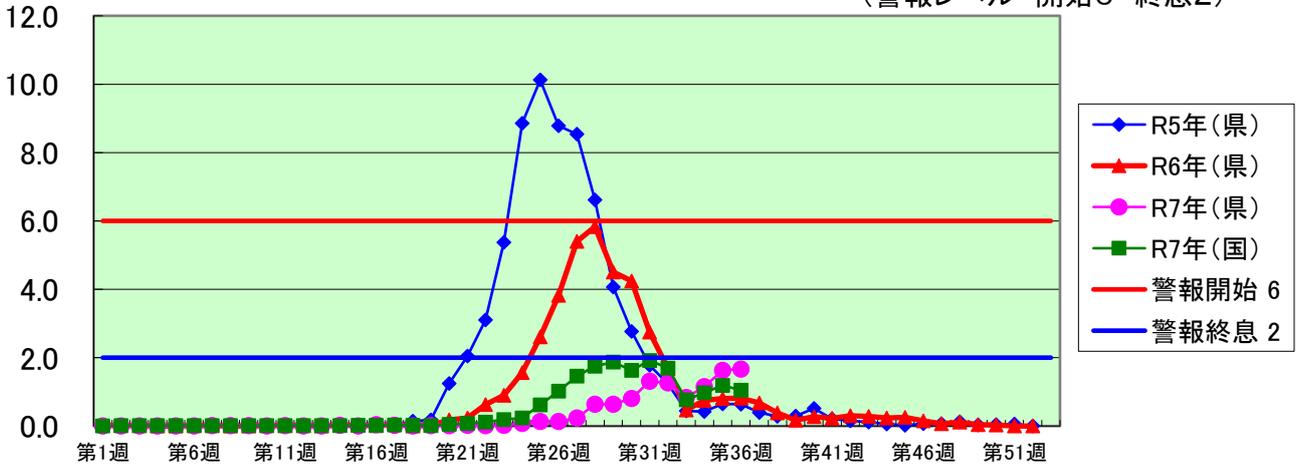
### 突発性発しん



(定点当たり患者数)

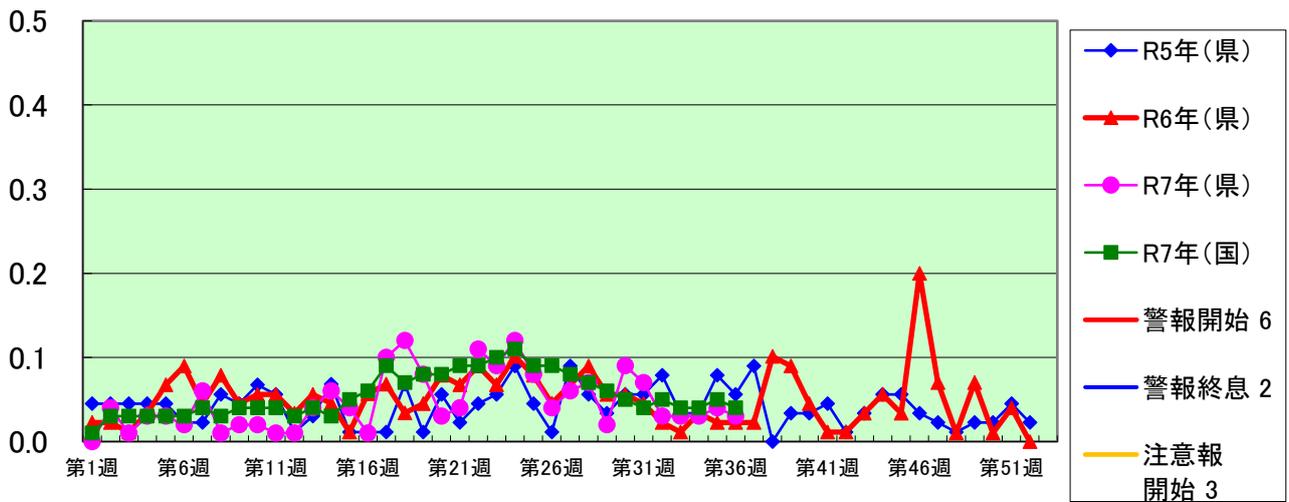
### ヘルパンギーナ

(警報レベル 開始6 終息2)



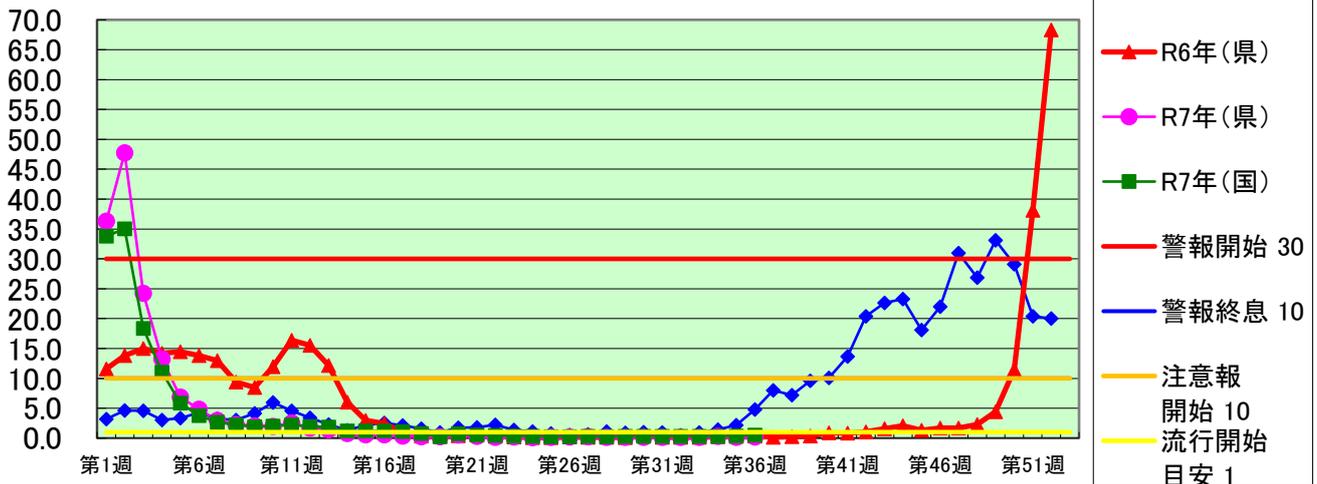
(定点当たり患者数)

### 流行性耳下腺炎



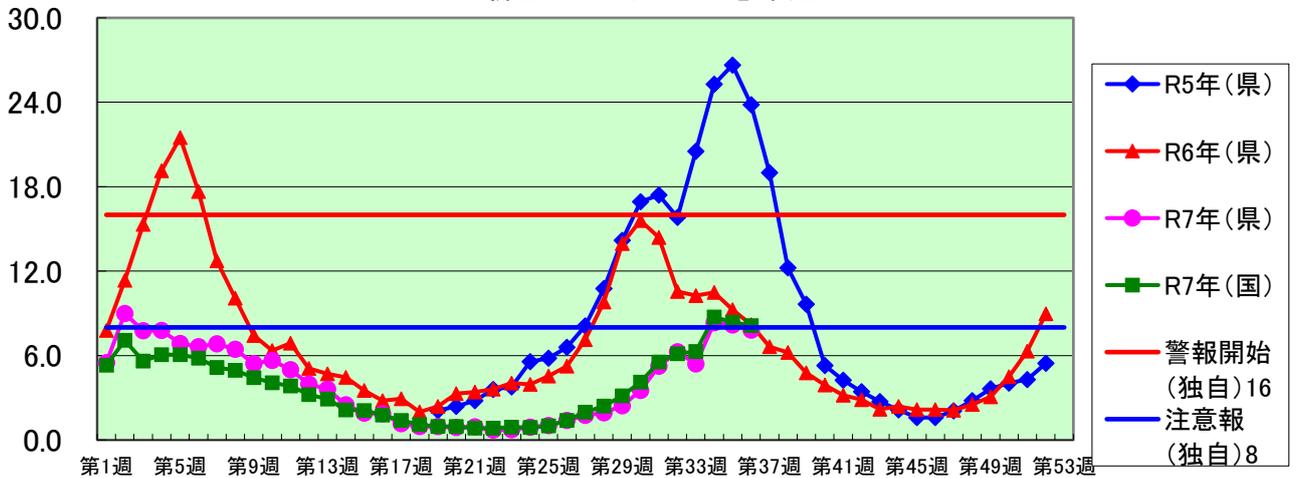
(定点当たり患者数)

### インフルエンザ



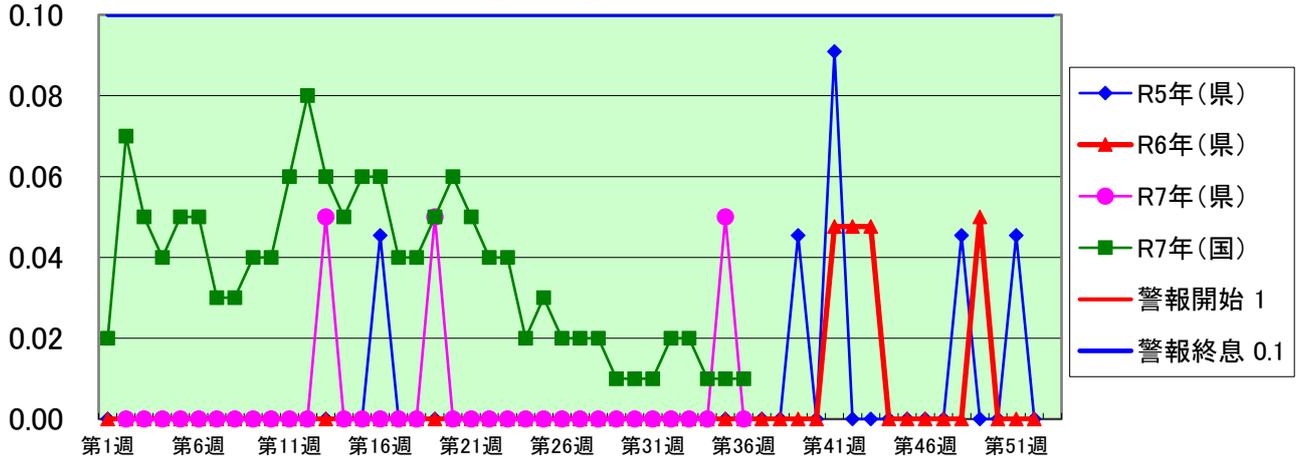
(定点当たり患者数)

### 新型コロナウイルス感染症



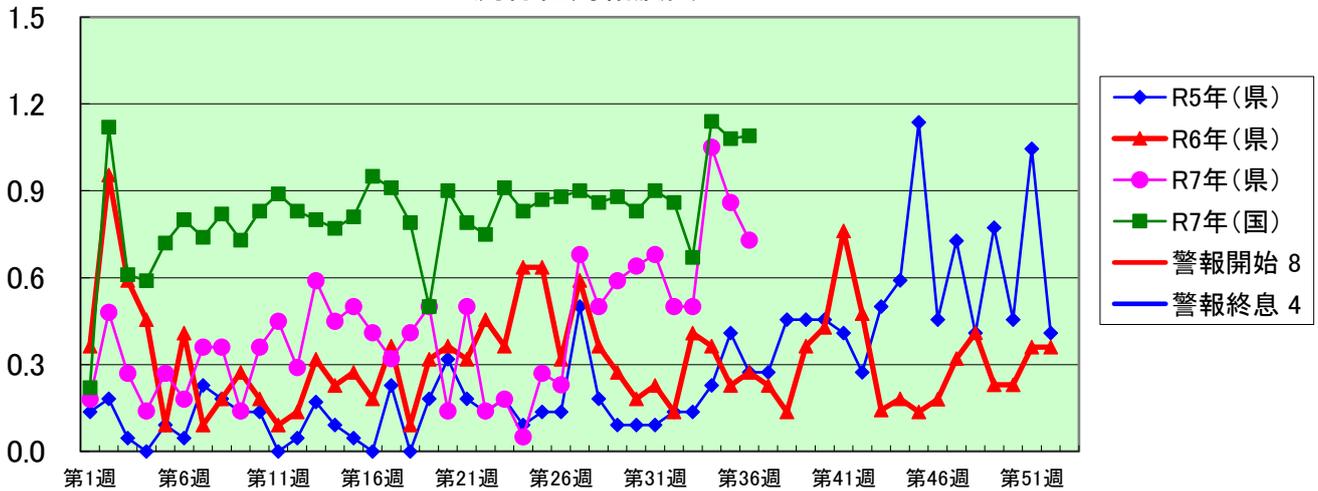
(定点当たり患者数)

### 急性出血性結膜炎



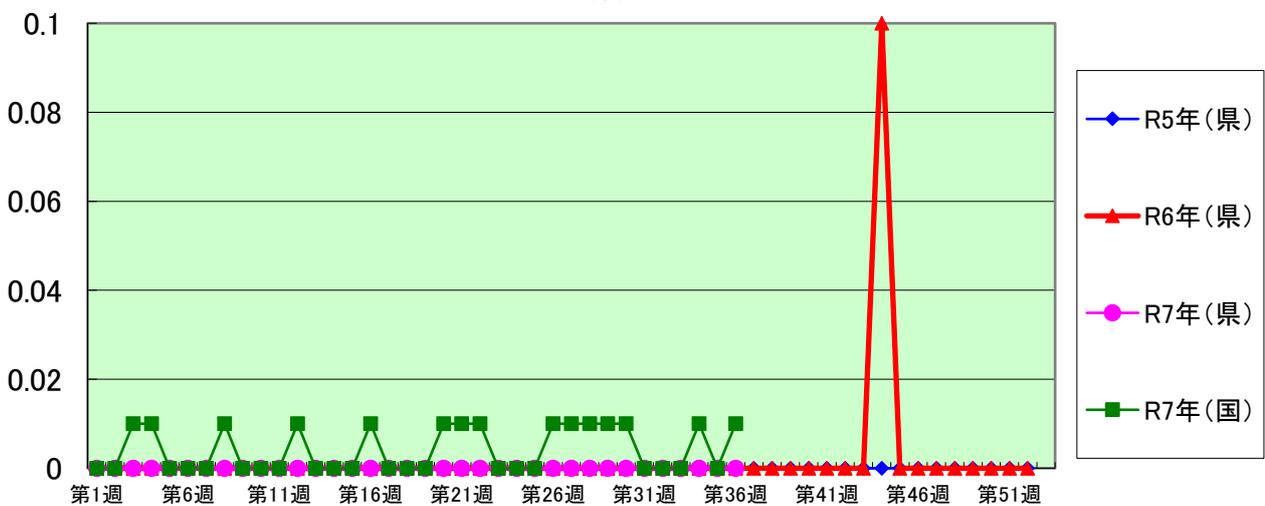
(定点当たり患者数)

### 流行性角結膜炎



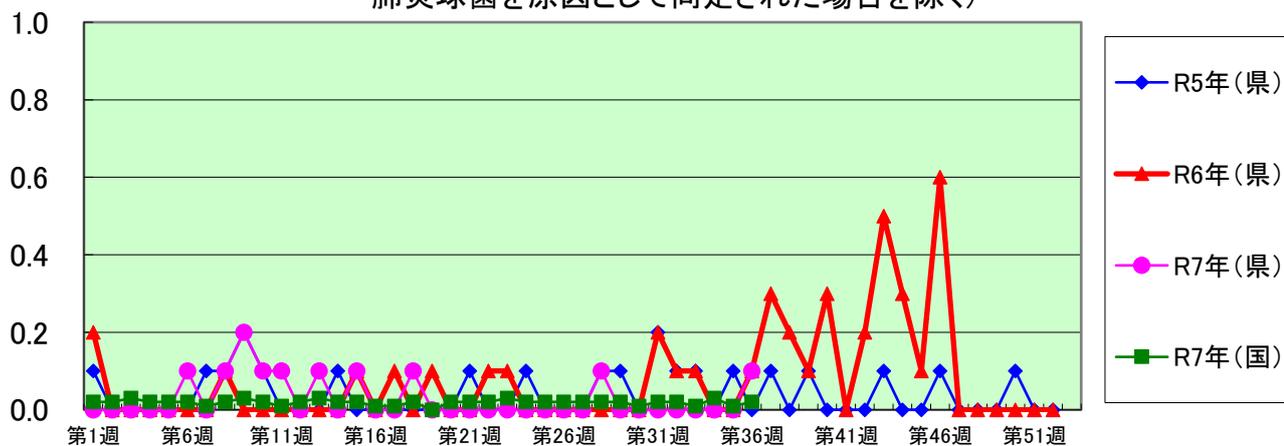
(定点当たり患者数)

### クラミジア肺炎(オウム病を除く)



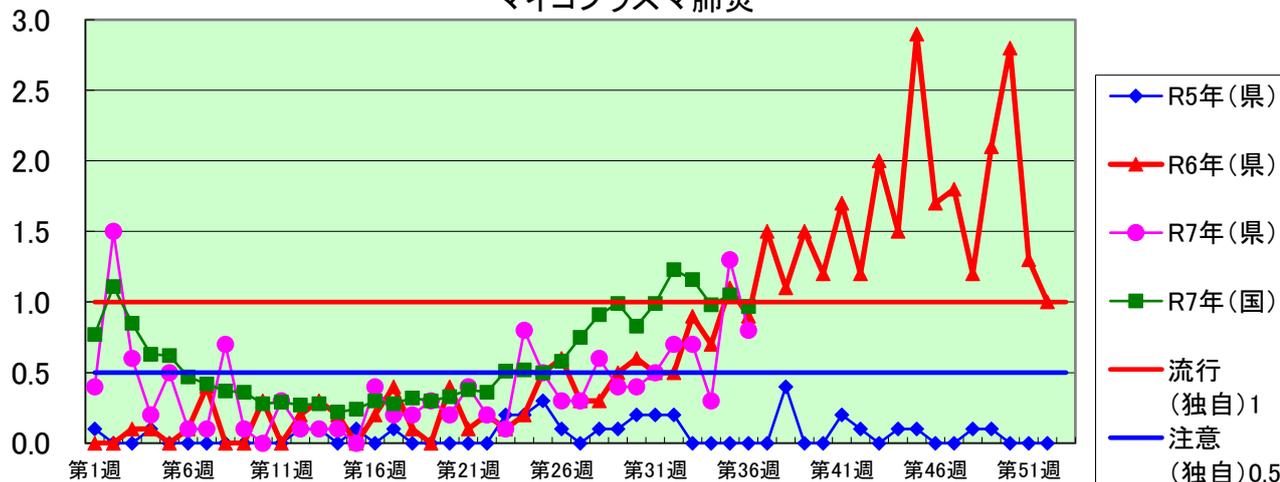
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)

(定点当たり患者数)



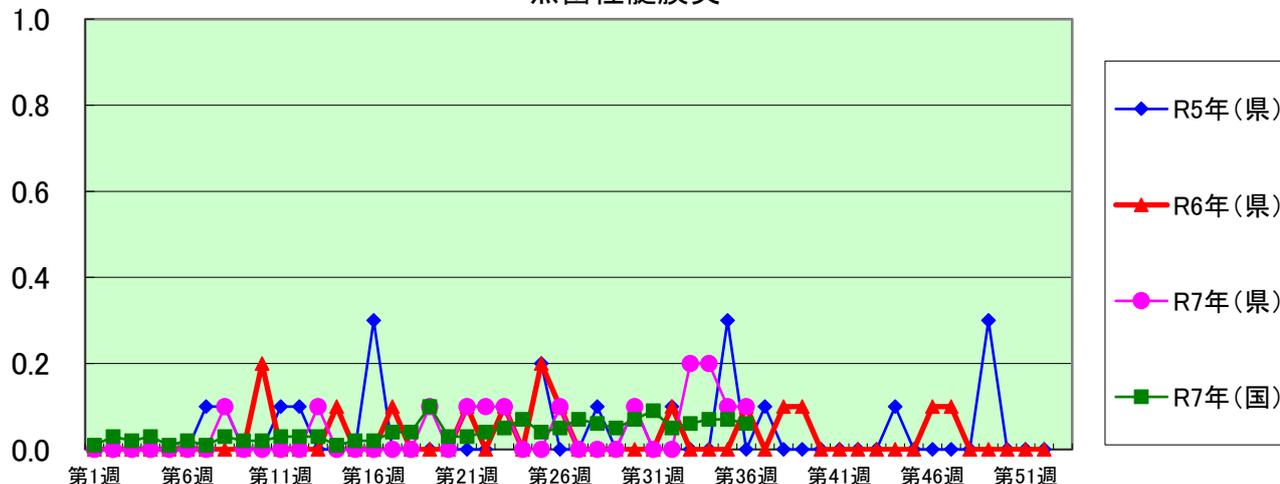
(定点当たり患者数)

マイコプラズマ肺炎



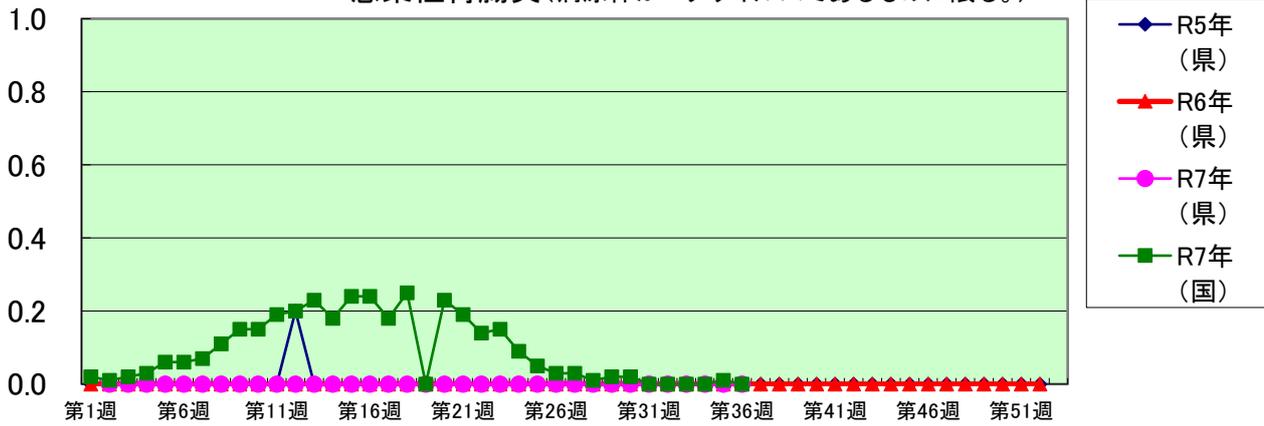
(定点当たり患者数)

無菌性髄膜炎



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

# 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年 7 月

	静岡県							全国				
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	計	4月	5月	6月	今月	計
性器クラミジア感染症	32	27	30	41	39	42	211	2,307	2,413	2,545	2,588	9,853
性器ヘルペスウイルス感染症	19	15	13	10	15	9	81	873	884	928	946	3,631
尖圭コンジローマ	8	8	12	11	16	11	66	524	523	585	610	2,242
淋菌感染症	5	4	11	10	9	6	45	612	704	713	782	2,811
性器クラミジア感染症(男)	10	9	11	13	9	17	69	1,178	1,231	1,278	1,316	5,003
性器クラミジア感染症(女)	22	18	19	28	30	25	142	1,129	1,182	1,267	1,272	4,850
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	3	2	5	3	8	3	24	298	337	353	387	1,375
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	16	13	8	7	7	6	57	575	547	575	559	2,256
尖圭コンジローマ(男)	5	3	6	6	6	-	26	355	358	391	432	1,536
尖圭コンジローマ(女)	3	5	6	5	10	11	40	169	165	194	178	706
淋菌感染症(男)	3	3	9	8	5	5	33	468	526	531	623	2,148
淋菌感染症(女)	2	1	2	2	4	1	12	144	178	182	159	663
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36	25	30	25	21	17	154	1,313	1,258	1,192	1,337	5,100
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	1	-	1	-	-	2	41	40	37	30	148
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	10	5	10	13	38

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

# 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年 7 月

	静岡県						全国			
	2月	3月	4月	5月	6月	今月	4月	5月	6月	今月
性器クラミジア感染症	1.07	0.90	1.00	1.37	1.30	1.40	2.39	2.47	2.60	2.63
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.50	0.43	0.33	0.50	0.30	0.90	0.90	0.95	0.96
尖圭コンジローマ	0.27	0.27	0.40	0.37	0.53	0.37	0.54	0.53	0.60	0.62
淋菌感染症	0.17	0.13	0.37	0.33	0.30	0.20	0.63	0.72	0.73	0.80
性器クラミジア感染症(男)	0.33	0.30	0.37	0.43	0.30	0.57	1.22	1.26	1.31	1.34
性器クラミジア感染症(女)	0.73	0.60	0.63	0.93	1.00	0.83	1.17	1.21	1.29	1.29
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.10	0.07	0.17	0.10	0.27	0.10	0.31	0.34	0.36	0.39
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.53	0.43	0.27	0.23	0.23	0.20	0.59	0.56	0.59	0.57
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.10	0.20	0.20	0.20	-	0.37	0.37	0.40	0.44
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.17	0.20	0.17	0.33	0.37	0.17	0.17	0.20	0.18
淋菌感染症(男)	0.10	0.10	0.30	0.27	0.17	0.17	0.48	0.54	0.54	0.63
淋菌感染症(女)	0.10	0.17	0.20	0.17	0.33	0.37	0.15	0.18	0.19	0.16
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.60	2.50	3.00	2.50	2.10	1.70	2.75	2.63	2.49	2.78
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	0.10	-	0.10	-	-	0.09	0.08	0.08	0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	0.02	0.01	0.02	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2025年 7 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	42	1.40	9	0.30	11	0.37	6	0.20
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-
東部	3	0.60	-	-	-	-	-	-
御殿場	2	2.00	1	1.00	-	-	-	-
富士	3	1.00	1	0.33	-	-	1	0.33
静岡市	11	1.83	5	0.83	3	0.50	2	0.33
中部	7	1.75	-	-	-	-	3	0.75
西部	10	2.00	-	-	-	-	-	-
浜松市	4	0.80	1	0.20	8	1.60	-	-

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	17	1.70	-	-	-	-
賀茂	1	1.00	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...	...	...
富士	-	-	-	-	-	-
静岡市	8	4.00	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-
西部	2	2.00	-	-	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

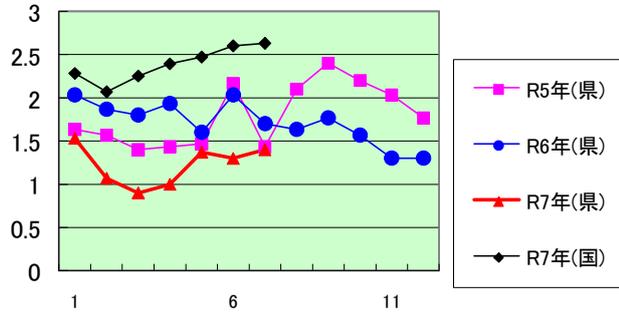
保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

\* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

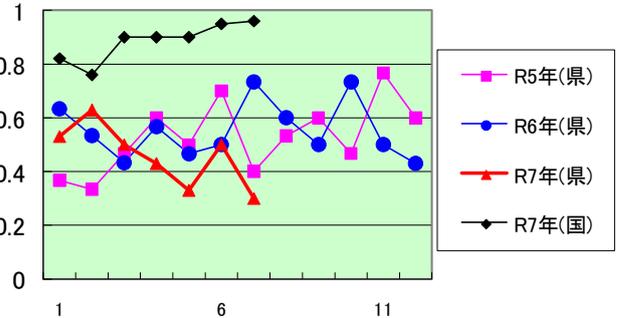


定点把握感染症(月報)推移グラフ

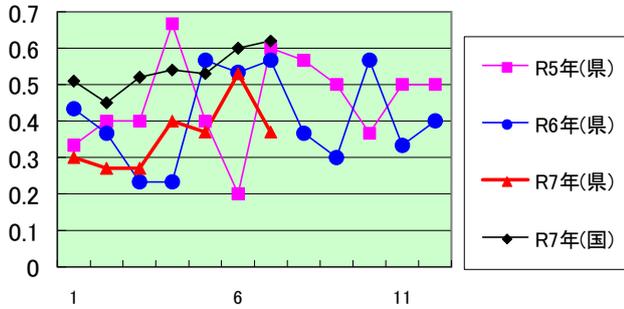
性器クラミジア感染症



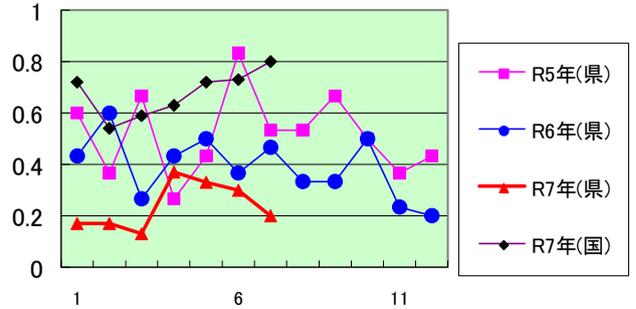
性器ヘルペスウイルス感染症



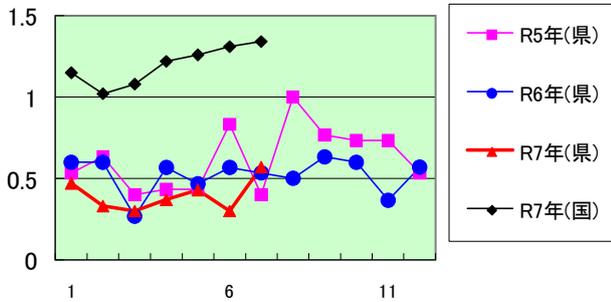
尖圭コンジローマ



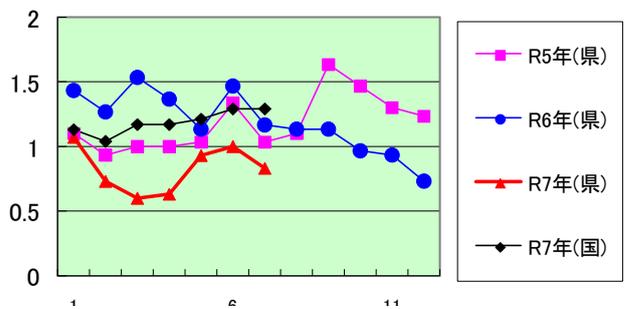
淋菌感染症



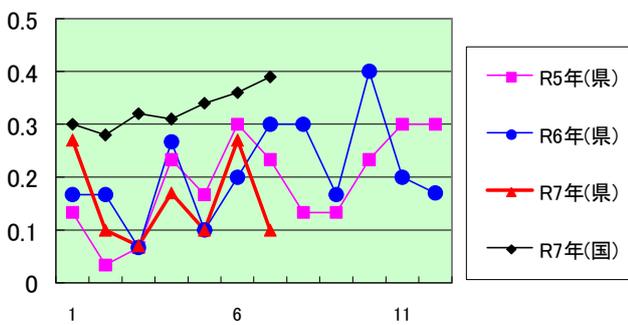
性器クラミジア感染症(男)



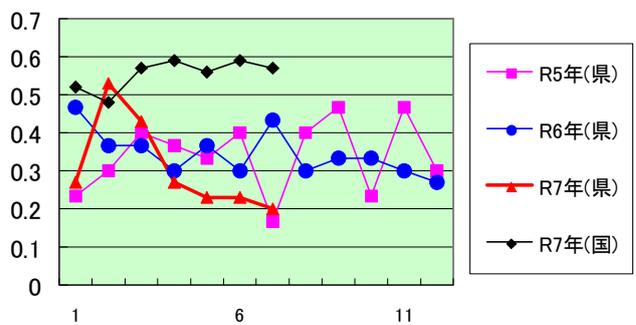
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

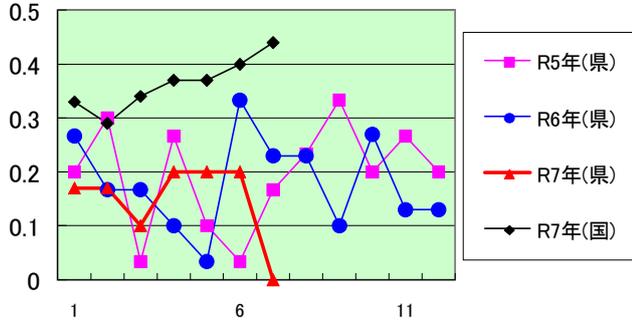


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

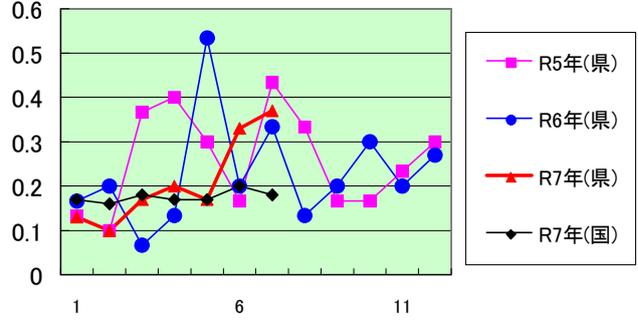


定点把握感染症(月報)推移グラフ

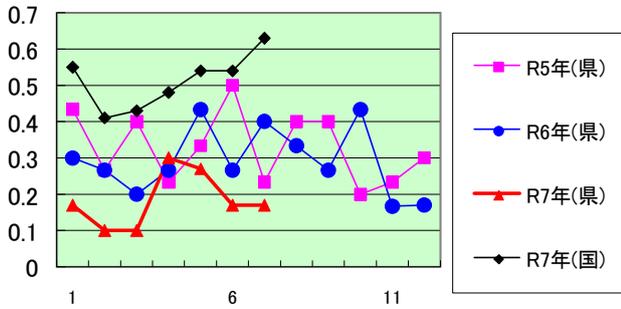
尖圭コンジローマ(男)



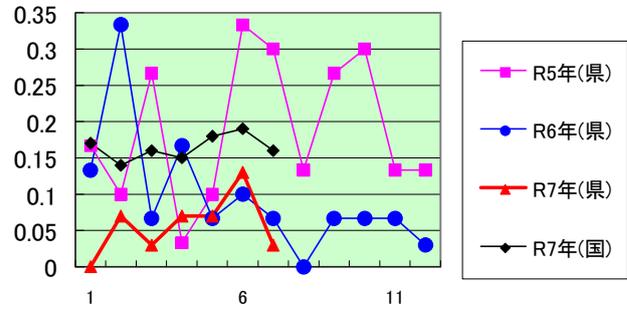
尖圭コンジローマ(女)



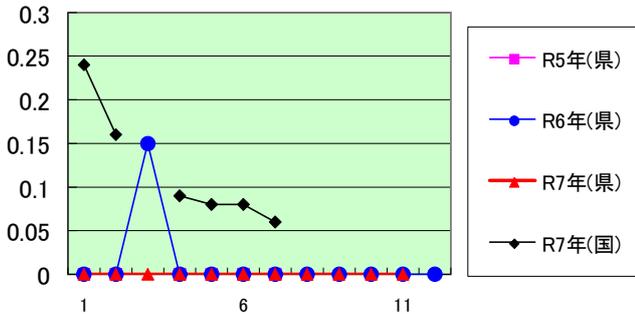
淋菌感染症(男)



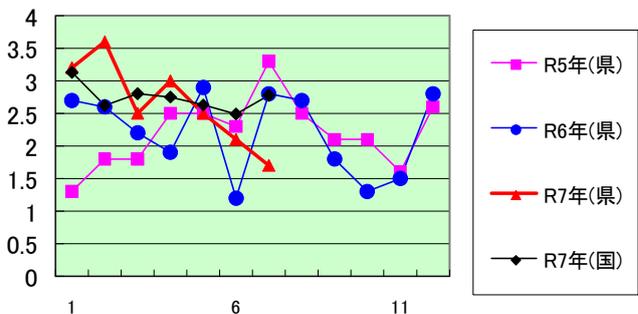
淋菌感染症(女)



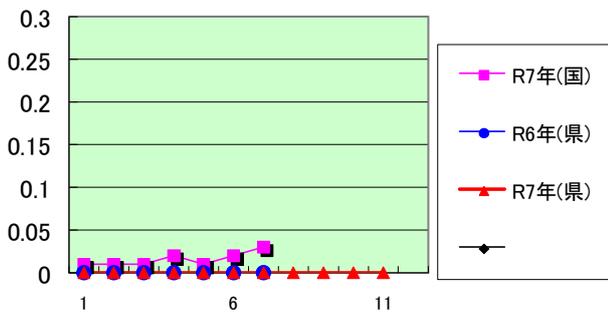
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第36週

9/1 ~ 9/7

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校  
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
下田市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
東伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
河津町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
南伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
松崎町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
西伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
熱海市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
伊東市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
沼津市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
三島市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
裾野市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
伊豆市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
伊豆の国市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
函南町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
清水町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
長泉町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
御殿場市	学校・園の数			1						1	0	1
	学校・園の患者数合計			16						16	0	16
小山町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
富士市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
富士宮市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
静岡市清水区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
静岡市葵区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
静岡市駿河区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第36週

9/1 ~ 9/7

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校  
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
焼津市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
藤枝市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
牧之原市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
吉田町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
川根本町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
磐田市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
掛川市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
袋井市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
湖西市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
御前崎市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
菊川市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市浜名区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市天竜区	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
県内合計	学校・園の数			1						1	0	1
	学校・園の患者数合計			16						16	0	16
2024-2025 シーズン 施設別合計	学校・園の数			1								
	学校・園の患者数合計			16								

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。  
 (※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

## 新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

7月中旬～7月下旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

結果判明日：8月3日（日）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株 (内BA.2) (内BA.5) (内組換体)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

## 本県の変異株の判明状況（8月24日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,298	6,424	2,480	2,394
	(前回からの増加数)	(7)	(2)	(0)	(5)
デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,887	5,168	1,832	1,887
	(前回からの増加数)	(7)	(2)	(0)	(5)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	2,147	1,119	560	468
	(前回からの増加数)	(6)	(2)	(0)	(4)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	901	525	106	270
	(前回からの増加数)	(1)	(0)	(0)	(1)

※県：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

## 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（8月24日時点）

	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換体	BA. 2	BA. 5	組換体
7月22日（月）～ 8月25日（日）	116	116	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
8月26日（月）～ 9月22日（日）	107	106	0	1	99.1%	0.0%	0.9%
9月23日（月）～ 10月20日（日）	27	26	0	1	96.3%	0.0%	3.7%
10月21日（月）～ 11月24日（日）	31	31	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
11月25日（月）～ 12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
2月24日（月）～ 3月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%
3月24日（月）～ 4月20日（日）	11	3	0	8	37.5%	0.0%	62.5%
4月21日（月）～ 5月25日（日）	5	2	0	3	37.5%	0.0%	62.5%
5月26日（月）～ 6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月23日（月）～ 7月27日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
7月28日（月）～ 8月24日（日）	7	6	0	1	85.7%	0.0%	14.3%

## ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （7月28日（月）～8月24日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
PQ	2	33.3%
NB. 1. 8. 1	4	66.7%
KP. 3	0	0.0%
その他のKP	0	0.0%
XEC	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	6	100.0%